



防災マップ

保存版

令和7年12月



発行 邑楽町（令和7年12月発行）

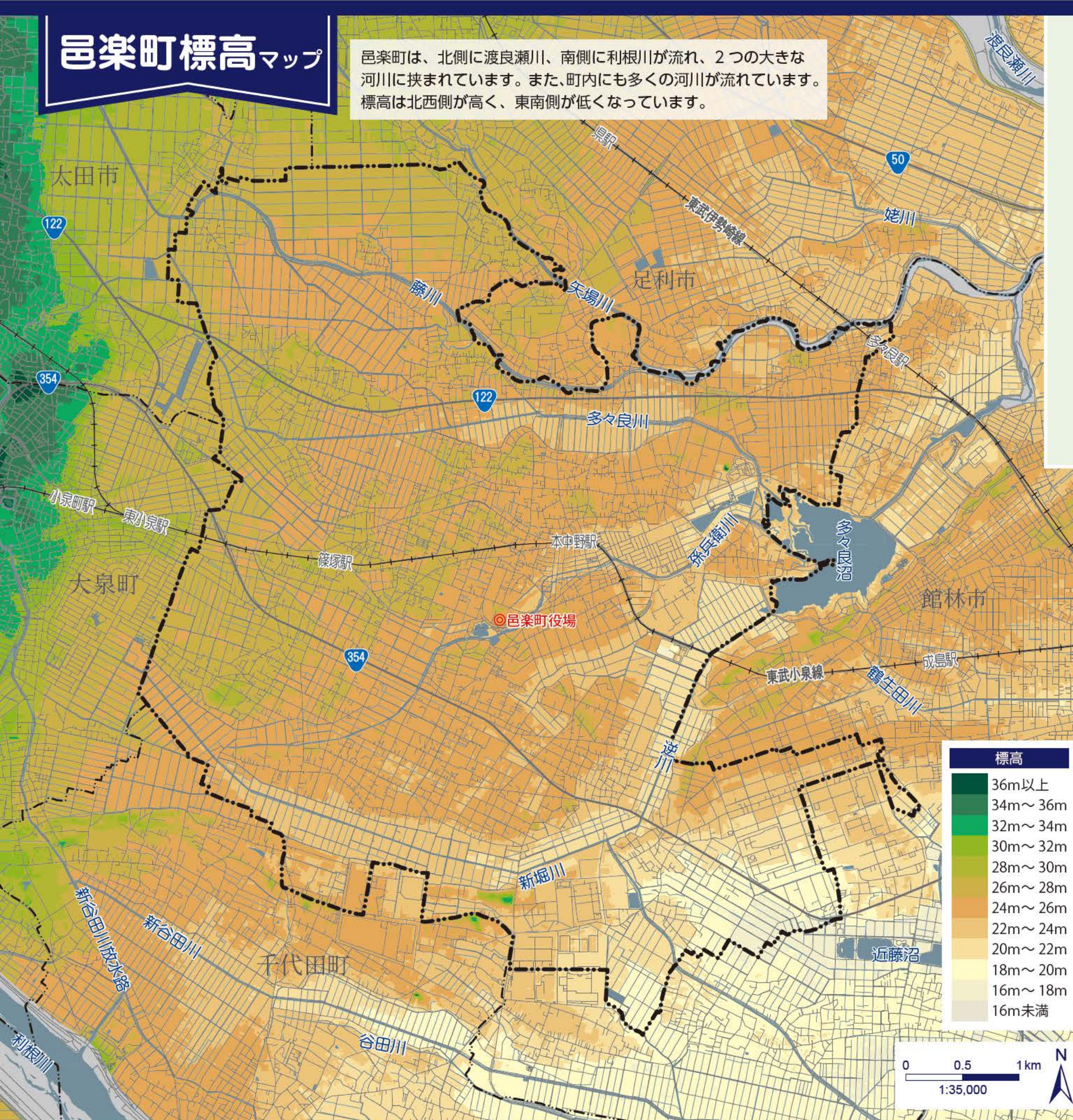
問合せ先 邑楽町総務課交通防災係

TEL 0276-88-5511（代表）

URL <https://www.town.ora.gunma.jp/>

邑楽町標高マップ

邑楽町は、北側に渡良瀬川、南側に利根川が流れ、2つの大きな河川に挟まれています。また、町内にも多くの河川が流れています。標高は北西側が高く、東南側が低くなっています。



町民の皆様には、日頃より、町の防災行政に対しまして、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

近年、地球温暖化の影響に伴い、全国各地で大雨をはじめ、自然災害が頻発し、甚大な被害をもたらしています。これらの自然災害は、いつどこで発生するかわかりません。

今回改訂した防災マップは、水害や地震、武力攻撃における国民保護など、様々な情報を一冊にまとめております。特に水害においては、各河川の浸水想定区域図、逃げどきマップ、内水氾濫による浸水想定区域図などの地図情報に加え、地図を見ながら逃げどきを判定できるフローや、「家族の避難計画」、「マイタイムライン」が簡単に作成できるよう工夫をしています。

防災の基本は「自助・共助・公助」とされています。このうち「公助」については、今後も継続して取り組んでまいります。被害を最小限に抑えるためには、地域ぐるみでの自助、共助といった防災意識の向上が極めて重要です。

この防災マップを、平時には日頃の備えや適切な避難行動を確認するために役立てていただき、もしものときには、ご自身とご家族の行動指針とできるようご活用いただければ幸いです。

邑楽町長 橋本光規



邑楽町防災マップ 目次

水害

邑楽町で水害が起こったら？	4～5ページ
洪水浸水想定区域図	6～11ページ
内水氾濫が発生したら	12ページ
浸水被害を軽減する方法	13ページ
洪水から命を守る	14～15ページ
洪水から命を守る情報	16～17ページ
逃げどきマップで考えよう！洪水からの避難対応	18～19ページ
逃げどきマップ 1～6	
1 高島地区	20～21ページ
2 高島・長柄・中野地区	22～23ページ
3 長柄地区	24～25ページ
4 中野・中野東地区	26～27ページ
5 中野東・長柄地区	28～29ページ
6 長柄地区	30～31ページ

地震

地震の想定	32～33ページ
地震から命を守る	34～35ページ

共通

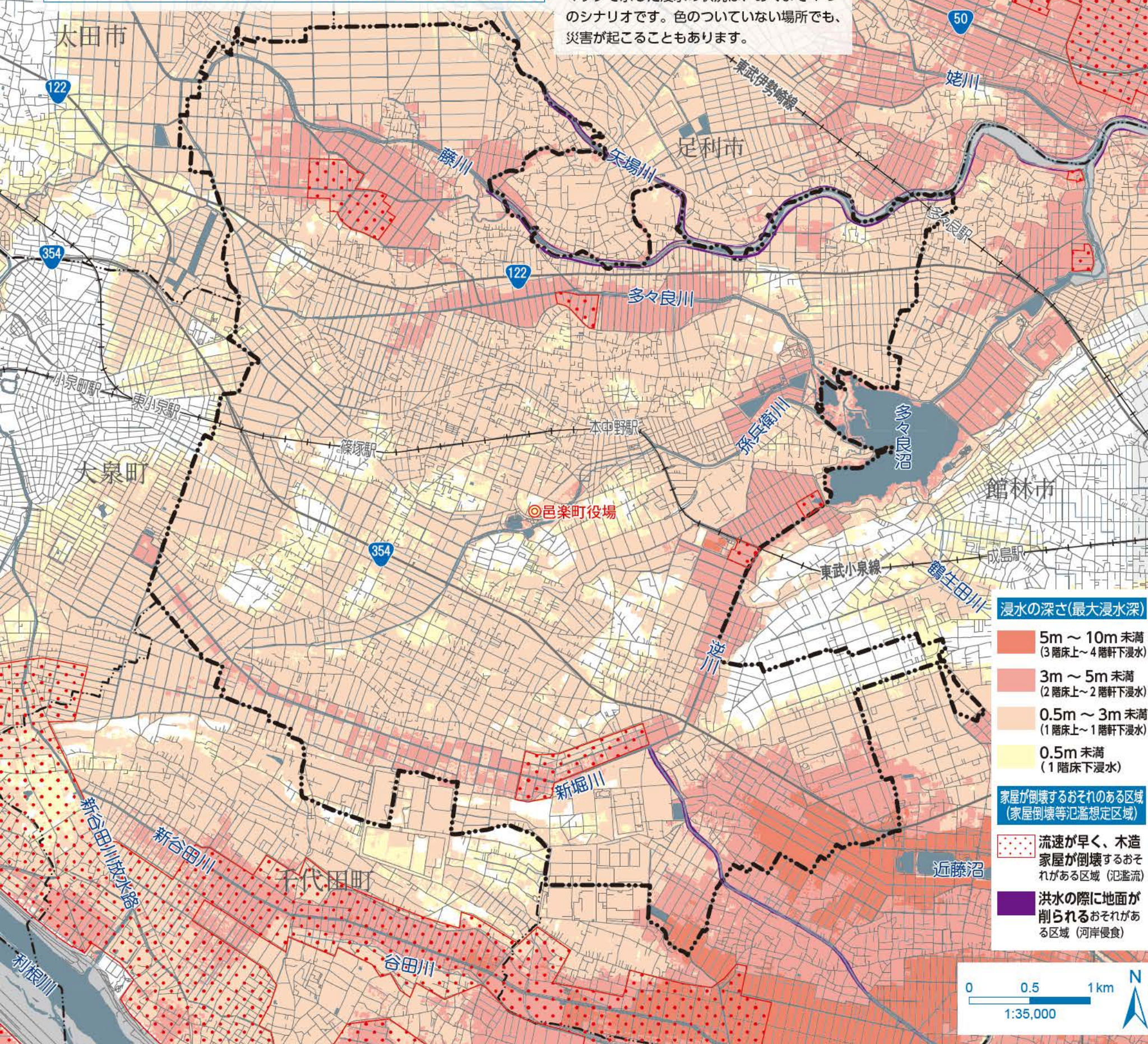
指定緊急避難場所等一覧	36～37ページ
情報の入手方法	38～39ページ
非常持ち出し品・備蓄品	40ページ
災害時に役立つ情報	41ページ
国民保護について学ぼう	42ページ
地域のちから	43ページ
逃げどきマップ判定フロー	44ページ
家族の避難計画	45ページ

邑楽町で水害が起こったら？

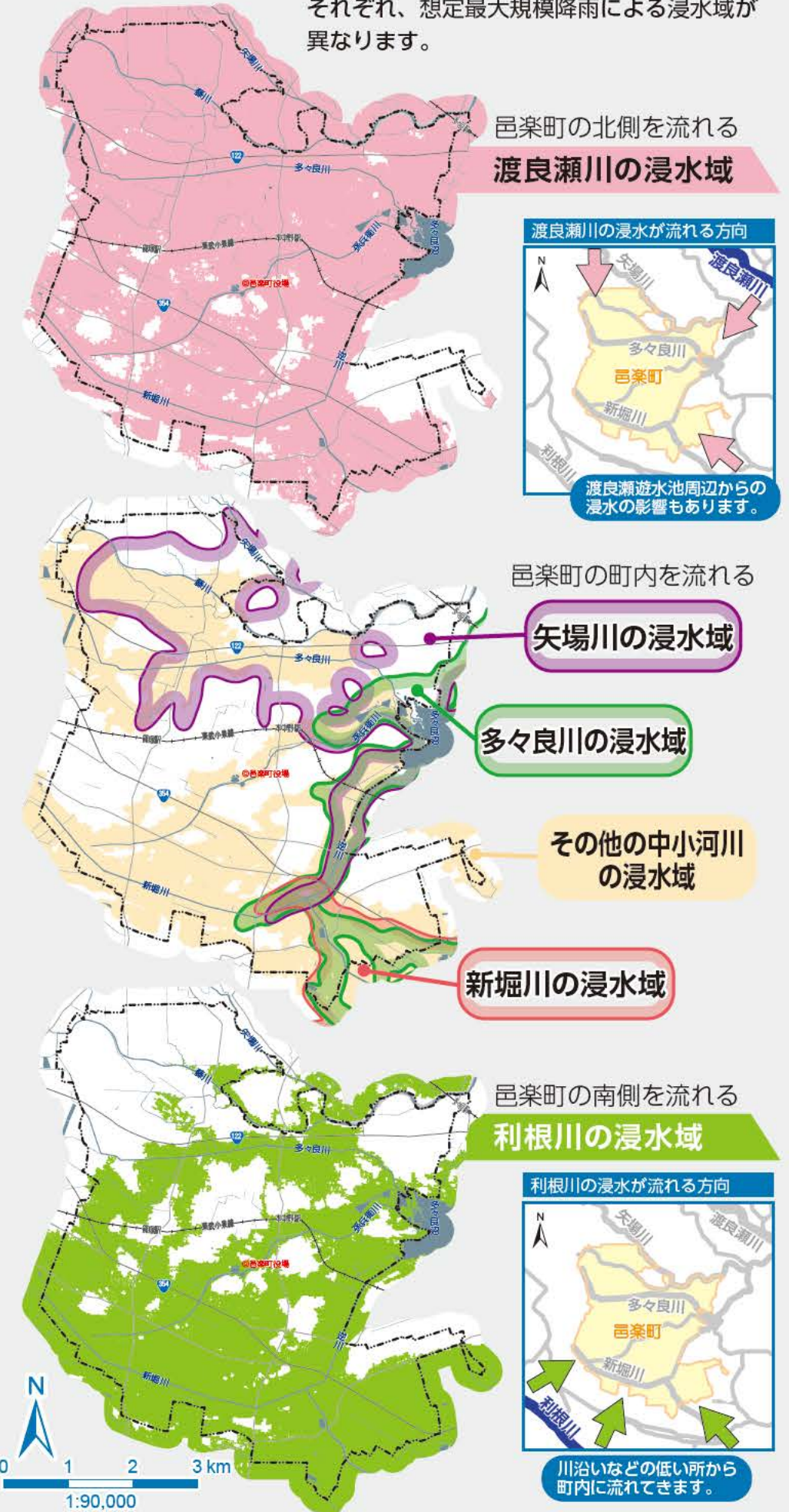
このマップは、以下の河川の洪水浸水想定区域図の想定最大規模の浸水想定区域を重ね合わせたものです。

利根川、渡良瀬川、矢場川、多々良川、新堀川、その他の中小河川

マップで示した浸水の状況は、あくまで1つのシナリオです。色のついていない場所でも、災害が起こることもあります。



邑楽町は、町外を流れる渡良瀬川や利根川、町内を流れる矢場川、多々良川、新堀川や、その他の中小河川の氾濫の影響を受けるおそれがあり、それぞれ、想定最大規模降雨による浸水域が異なります。



渡良瀬川が氾濫したら？

渡良瀬川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)

指定の前提となる降雨：72時間の総雨量812mm

指 定 年 月 日：平成29年7月20日

作 成 主 体：国土交通省渡良瀬川河川事務所／国土交通省利根川上流河川事務所

この計算結果は、1つのシナリオにすぎません。

マップで示した浸水の状況は、あくまで1つのシナリオです。色のついていない場所でも、災害が起こることがあります。



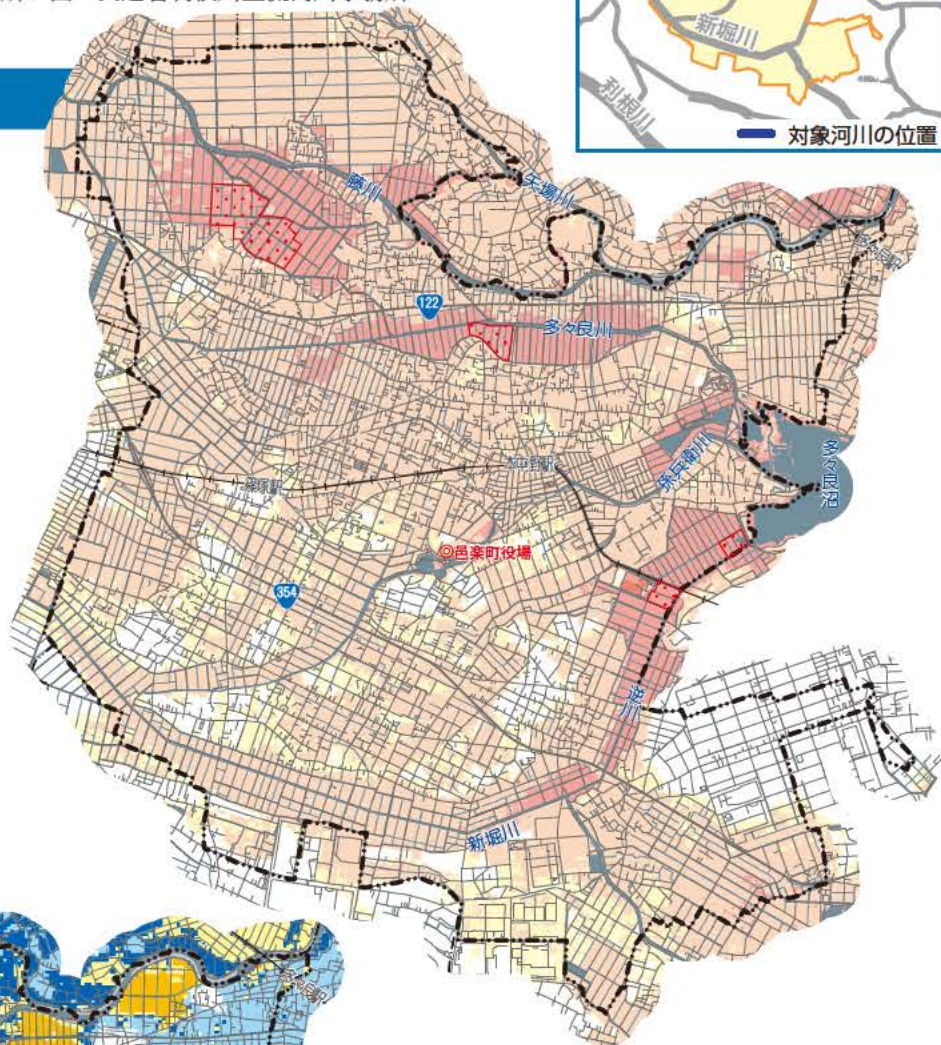
渡良瀬川 浸水の深さ

浸水の深さ(最大浸水深)

- 5m～10m未満
(3階床上～4階軒下浸水)
- 3m～5m未満
(2階床上～2階軒下浸水)
- 0.5m～3m未満
(1階床上～1階軒下浸水)
- 0.5m未満
(1階床下浸水)

家屋が倒壊するおそれのある区域
(家屋倒壊等氾濫想定区域)

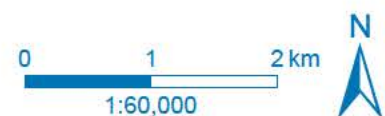
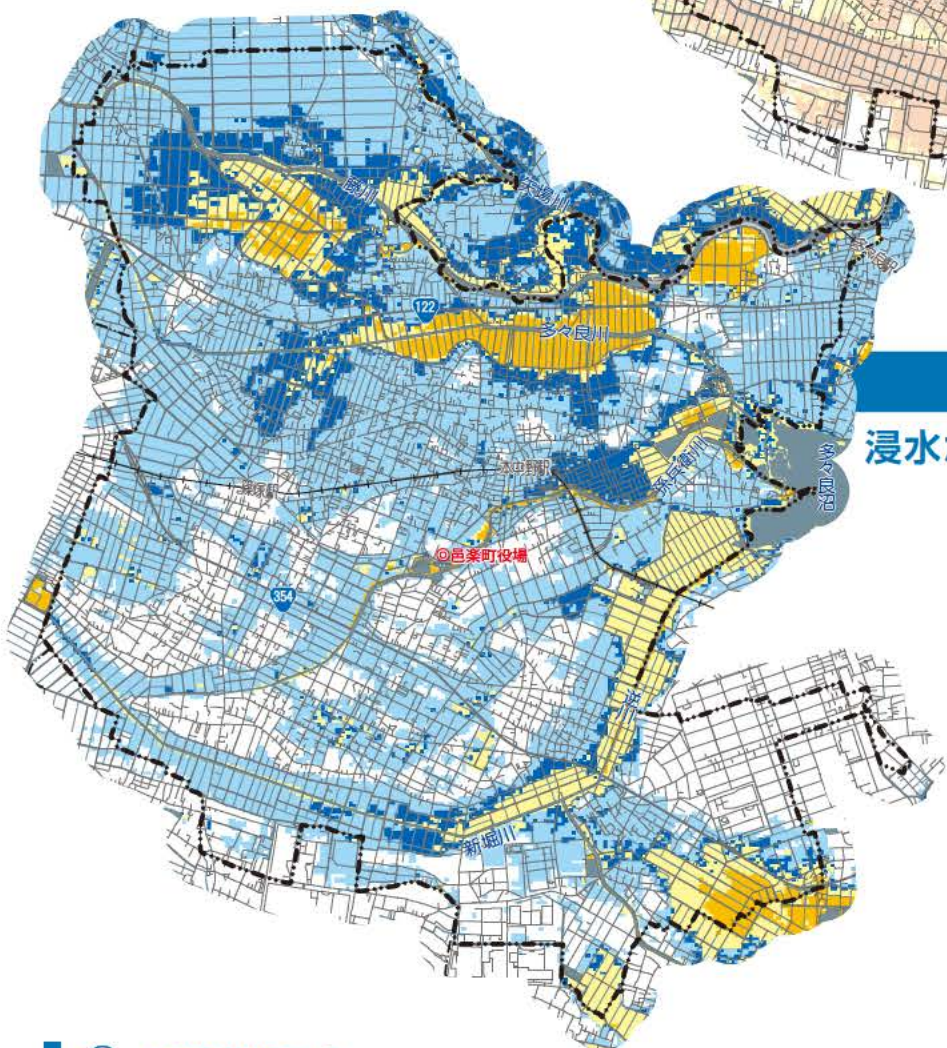
流速が早く、木造
家屋が倒壊するお
それがある区域(氾濫流)



渡良瀬川 浸水が続く長さ

浸水が続く長さ
(浸水継続時間)

- 1週間程度
- 3日間程度
- 1日間程度
- 12時間程度



1時間以内に浸水

2時間以内に浸水

3時間以内に浸水

5時間以内に浸水

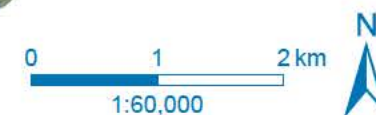
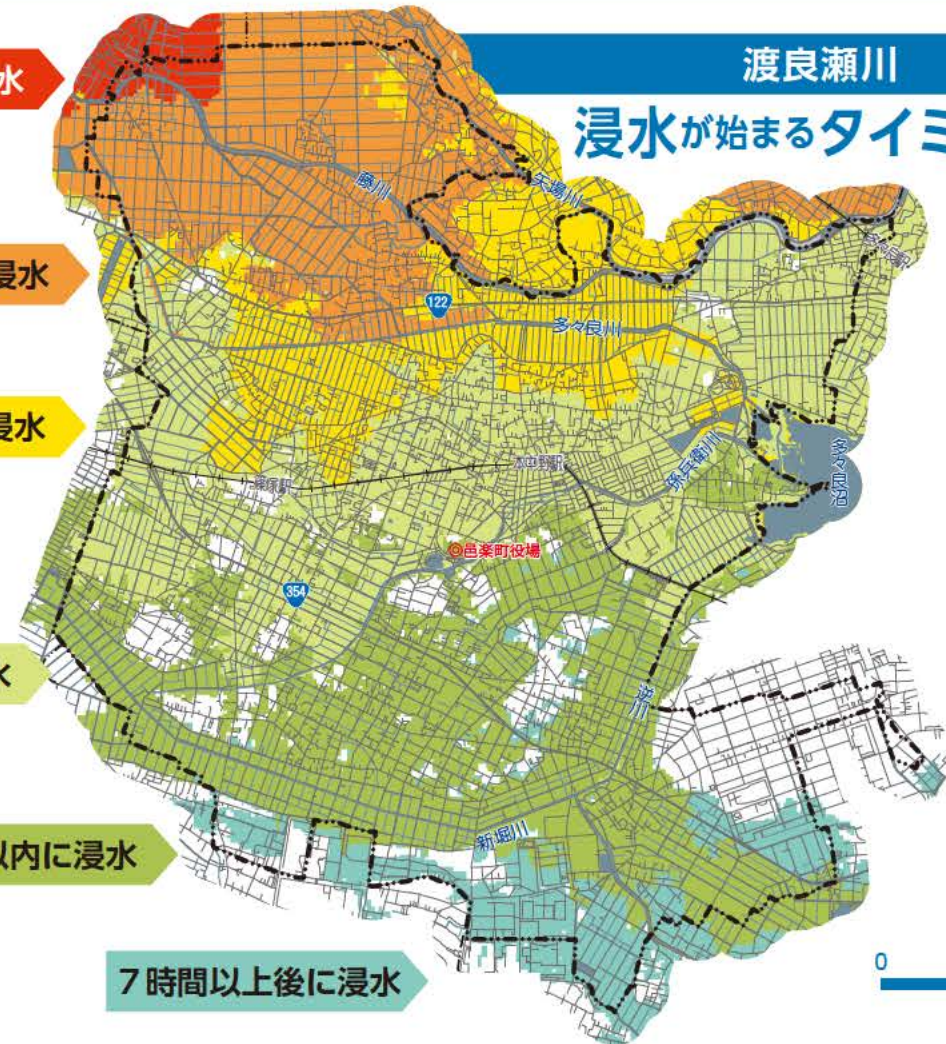
7時間以内に浸水

7時間以上後に浸水

渡良瀬川 浸水が始まるタイミング

浸水が始まる時間
(浸水開始時間)

- 堤防決壊から
浸水開始まで
- 1時間以内
- 2時間以内
- 3時間以内
- 5時間以内
- 7時間以内
- 7時間超



多々良川が氾濫したら？

多々良川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)

指定の前提となる降雨：72時間の総雨量944mm

指 定 年 月 日：平成29年7月20日

作 成 主 体：国土交通省渡良瀬川河川事務所

この図面は、多々良川が対象区間で氾濫したときの浸水の状況を示したものです。それ以外の区間の浸水の状況は、9ページに掲載している「その他の中小河川が氾濫したら？」の図面に含まれます。



多々良川 浸水の深さ

浸水の深さ(最大浸水深)

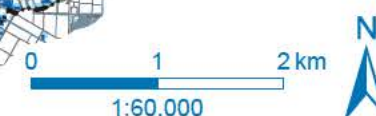
- 3m～5m未満
(2階床上～2階軒下浸水)
- 0.5m～3m未満
(1階床上～1階軒下浸水)
- 0.5m未満
(1階床下浸水)



多々良川 浸水が続く長さ

浸水が続く長さ
(浸水継続時間)

- 1週間程度
- 3日間程度
- 1日間程度
- 12時間程度



矢場川が氾濫したら？

矢場川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)

指定の前提となる降雨：72時間の総雨量944mm
指 定 年 月 日：平成29年7月20日
作 成 主 体：国土交通省渡良瀬川河川事務所

この図面は、矢場川の対象区間で氾濫したときの浸水の状況を示したものです。

この計算結果は、1つのシナリオにすぎません。
マップで示した浸水の状況は、あくまで1つのシナリオです。
色のついていない場所でも、災害が起こることがあります。



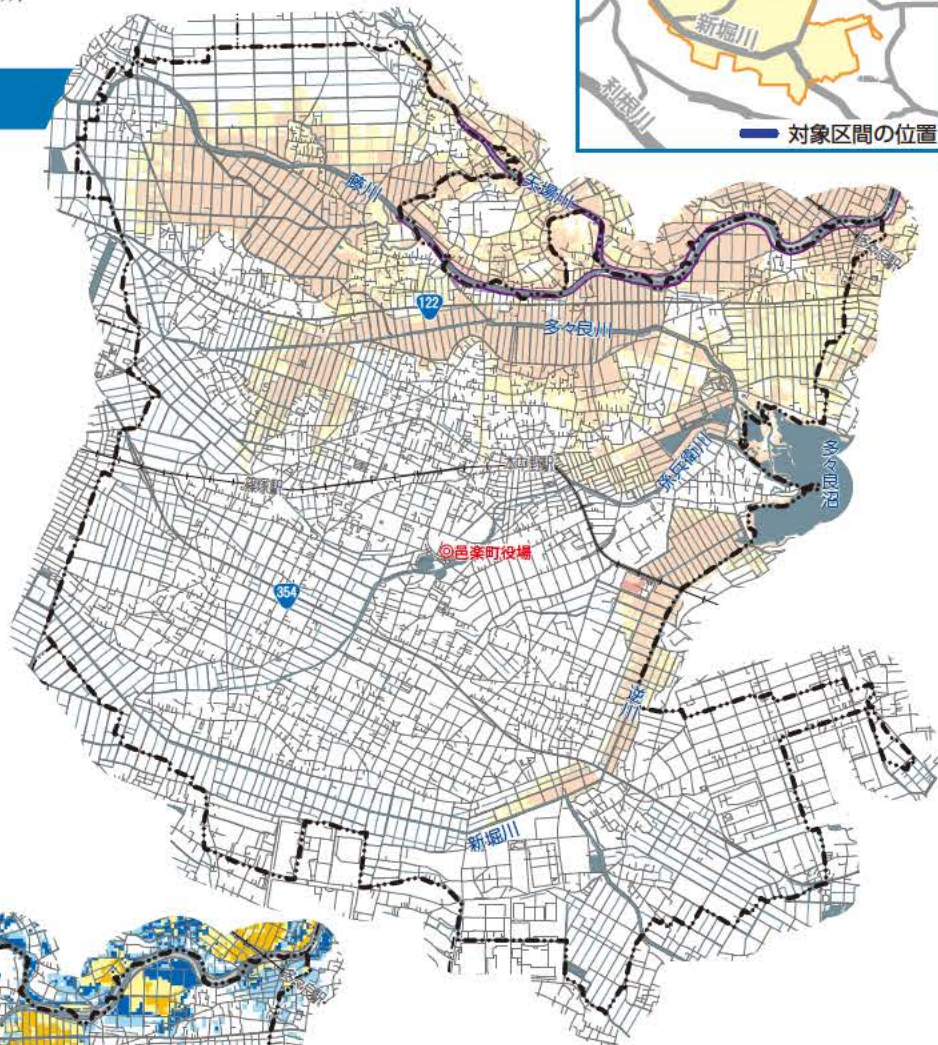
矢場川 浸水の深さ

浸水の深さ(最大浸水深)

- 3m～5m未満
(2階床上～2階軒下浸水)
- 0.5m～3m未満
(1階床上～1階軒下浸水)
- 0.5m未満
(1階床下浸水)

家屋が倒壊するおそれのある区域
(家屋倒壊等氾濫想定区域)

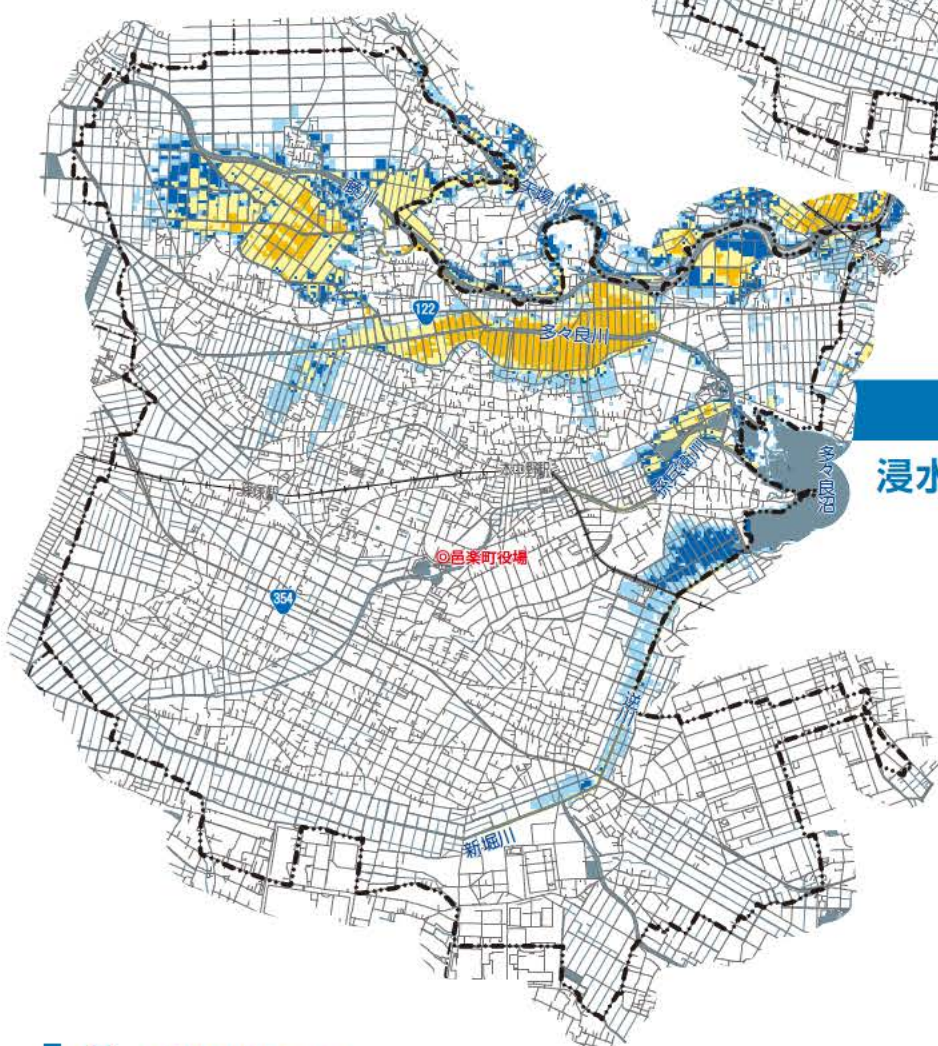
洪水の際に地面が削られるおそれがある区域
(河岸侵食)



矢場川 浸水が続く長さ

浸水が続く長さ
(浸水継続時間)

- 1週間程度
- 3日間程度
- 1日間程度
- 12時間程度



その他の中小河川が氾濫したら？

群馬県利根川水系洪水浸水想定区域図(想定最大規模) 邑楽・館林圏域

指定の前提となる降雨：24時間の総雨量664mm
指 定 年 月 日：令和4年3月29日
作 成 主 体：群馬県

この図は、群馬県が管理する洪水予報河川及び水位周知河川に指定された区間以外の以下の河川において、一定の条件で破堤等させた時及び、越水又は溢水させた時の氾濫解析結果を基に作成したものです。

対象となる河川

谷田川、谷田川導水路、鶴生田川導水路、鶴生田川、楠木川、近藤川、新堀川導水路、新堀川、逆川(新堀川支川)、新谷田川、新谷田川放水路、五箇川、大箇野川、板倉川、歳川、矢場川、多々良川、孫兵衛川、藤川(矢場川支川)、休泊川、海老瀬川、朝日野川、泉野川

その他の中小河川 浸水の深さ

浸水の深さ(最大浸水深)

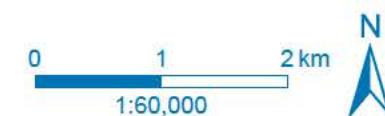
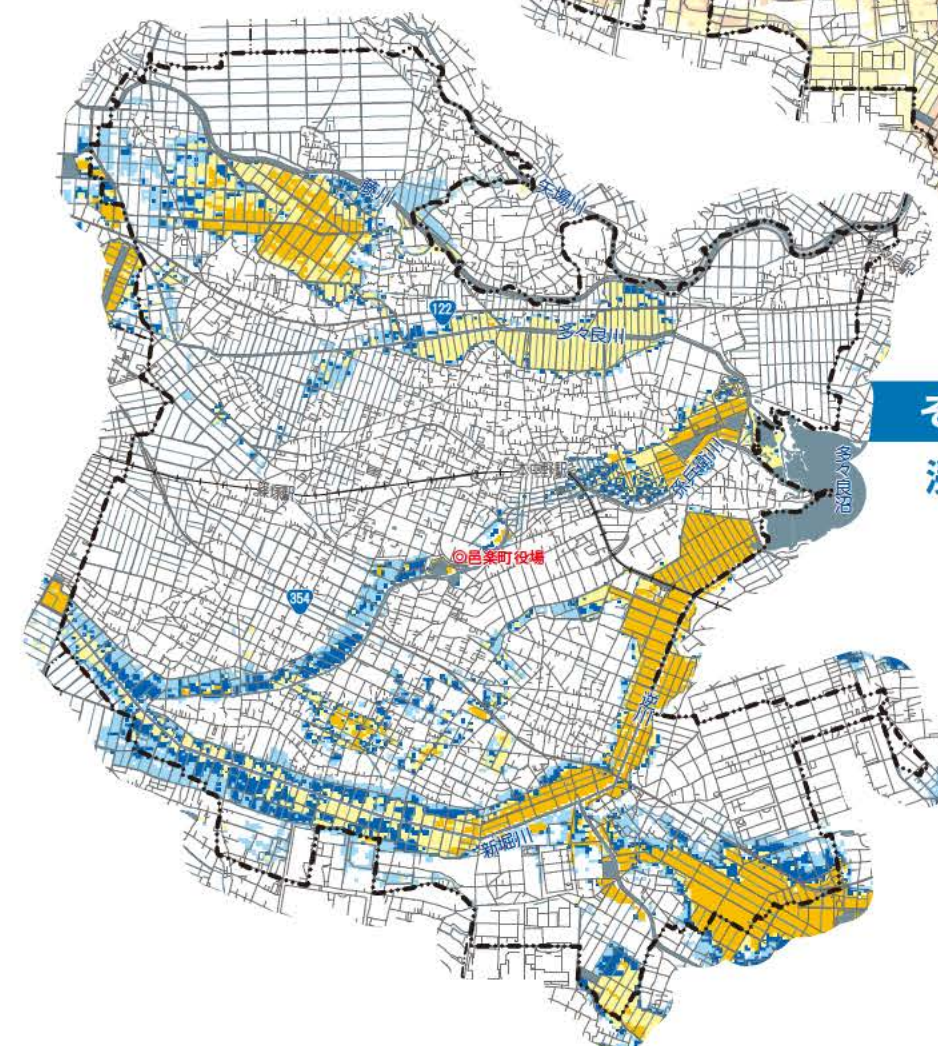
- 5m～10m未満
(3階床上～4階軒下浸水)
- 3m～5m未満
(2階床上～2階軒下浸水)
- 0.5m～3m未満
(1階床上～1階軒下浸水)
- 0.5m未満
(1階床下浸水)



その他の中小河川 浸水が続く長さ

浸水が続く長さ
(浸水継続時間)

- 1週間程度
- 3日間程度
- 1日間程度
- 12時間程度



利根川が氾濫したら？

利根川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)

指定の前提となる降雨：72時間の総雨量 491mm

指 定 年 月 日：平成 29 年 7 月 20 日

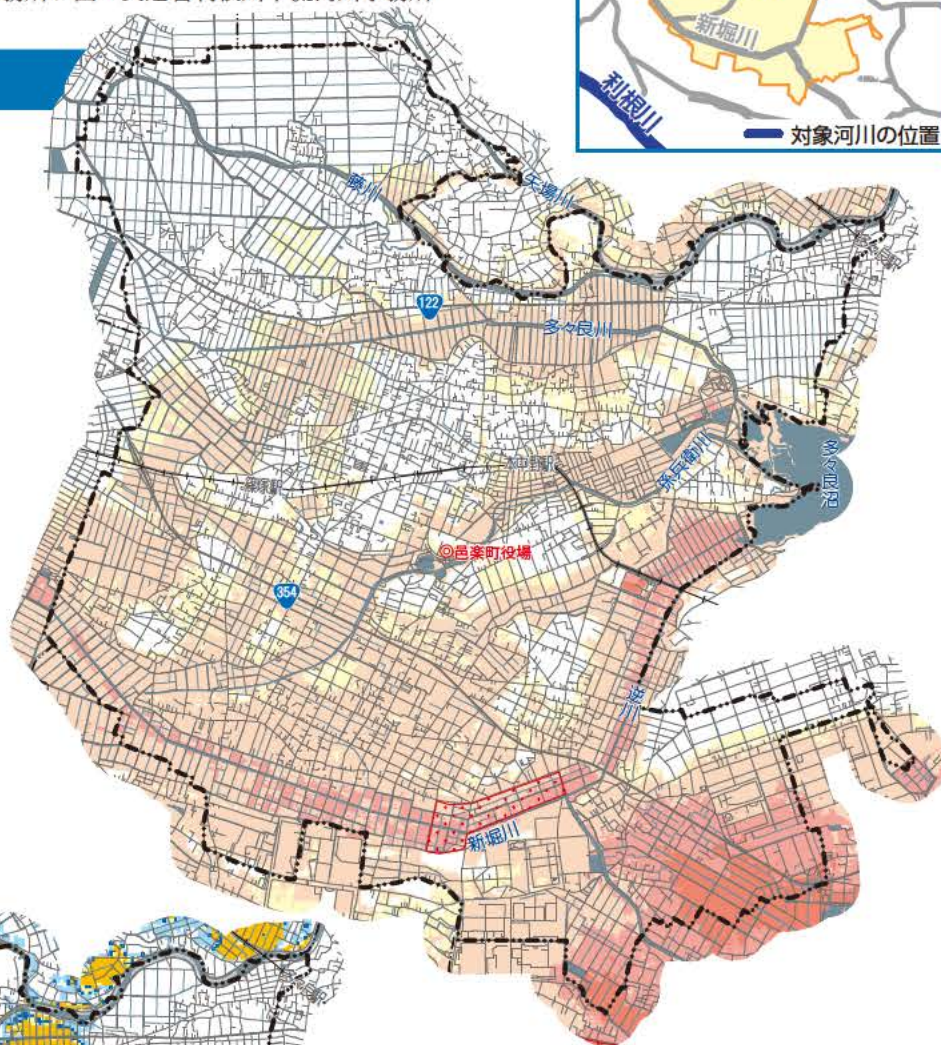
作 成 主 体：国土交通省利根川上流河川事務所 / 国土交通省利根川下流河川事務所

この計算結果は、1つのシナリオにすぎません。

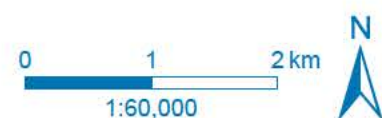
マップで示した浸水の状況は、あくまで1つのシナリオです。
色のついていない場所でも、災害が起こることがあります。利根川
浸水の深さ

浸水の深さ(最大浸水深)

- 5m ～ 10m 未満
(3階床上～4階軒下浸水)
- 3m ～ 5m 未満
(2階床上～2階軒下浸水)
- 0.5m ～ 3m 未満
(1階床上～1階軒下浸水)
- 0.5m 未満
(1階床下浸水)

家屋が倒壊するおそれのある区域
(家屋倒壊等氾濫想定区域)流速が早く、木造
家屋が倒壊するお
それがある区域 (氾濫流)利根川
浸水が続く長さ浸水が続く長さ
(浸水継続時間)

- 2週間程度
- 1週間程度
- 3日間程度
- 1日間程度
- 12時間程度



新堀川が氾濫したら？

新堀川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)

指定の前提となる降雨：24時間の総雨量 690mm

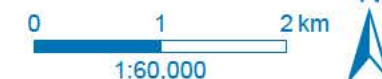
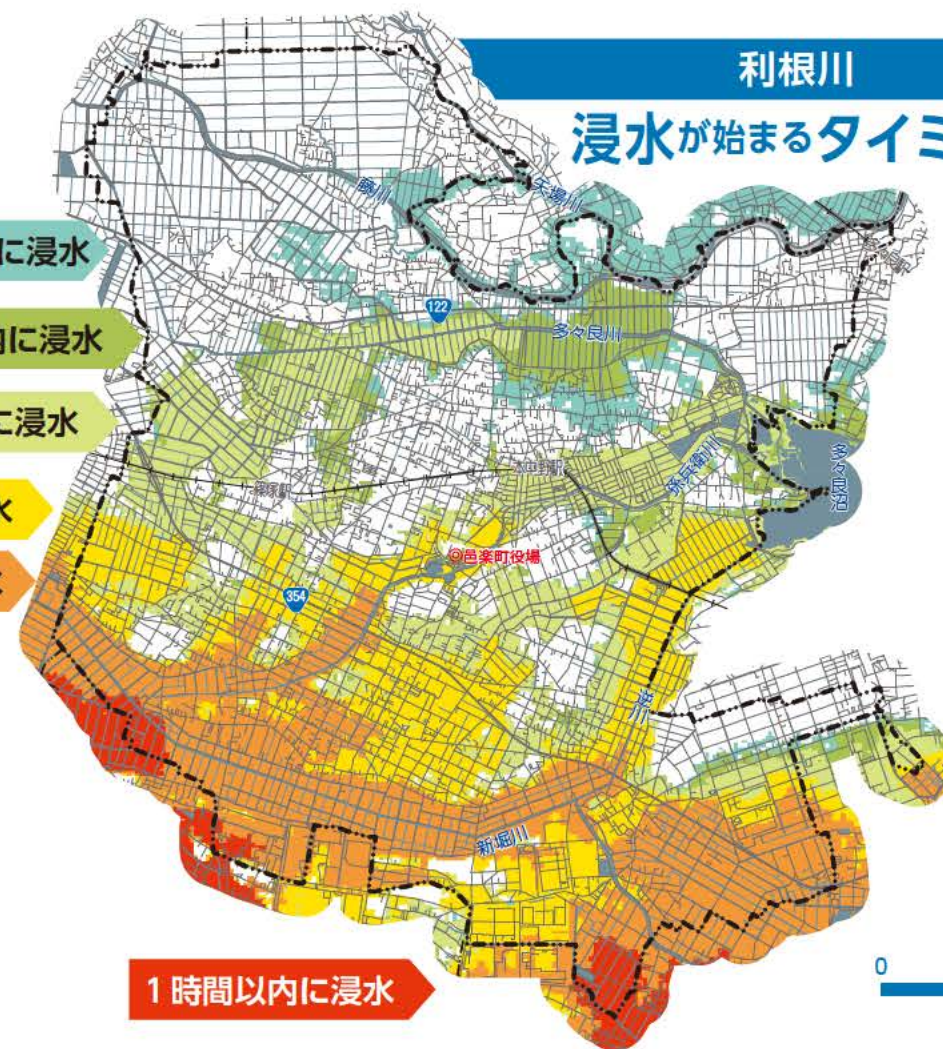
指 定 年 月 日：令和 3 年 1 月 19 日

作 成 主 体：群馬県

この図面は、新堀川が対象区間で氾濫したときの
浸水の状況を示したものです。
それ以外の区間の浸水の状況は、9ページに掲載
している「その他の中小河川が氾濫したら？」の
図面に含まれます。利根川
浸水が始まるタイミング浸水が始まる時間
(浸水開始時間)堤防決壊から
浸水開始まで

- 1時間以内
- 2時間以内
- 3時間以内
- 5時間以内
- 7時間以内
- 7時間超

- 7時間以上後に浸水
- 7時間以内に浸水
- 5時間以内に浸水
- 3時間以内に浸水
- 2時間以内に浸水

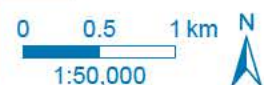
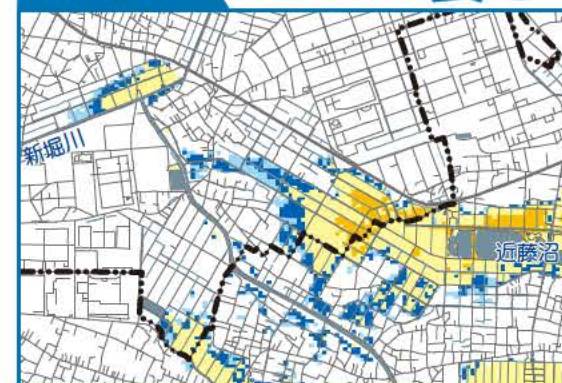
新堀川
浸水の深さ

浸水の深さ(最大浸水深)

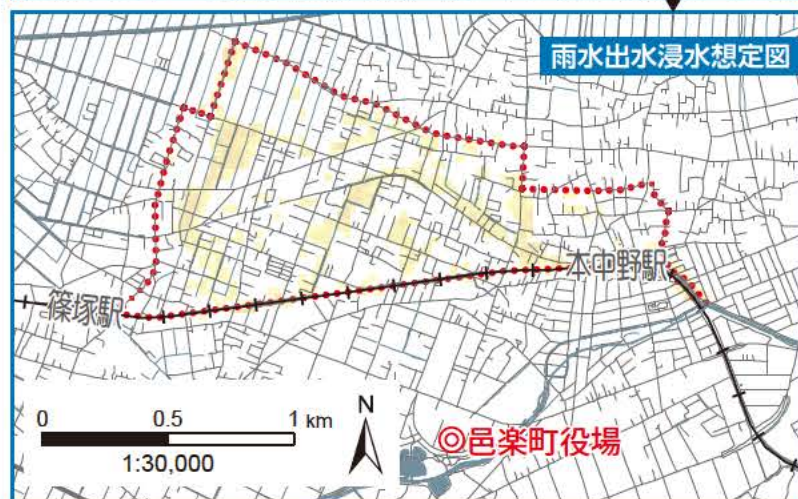
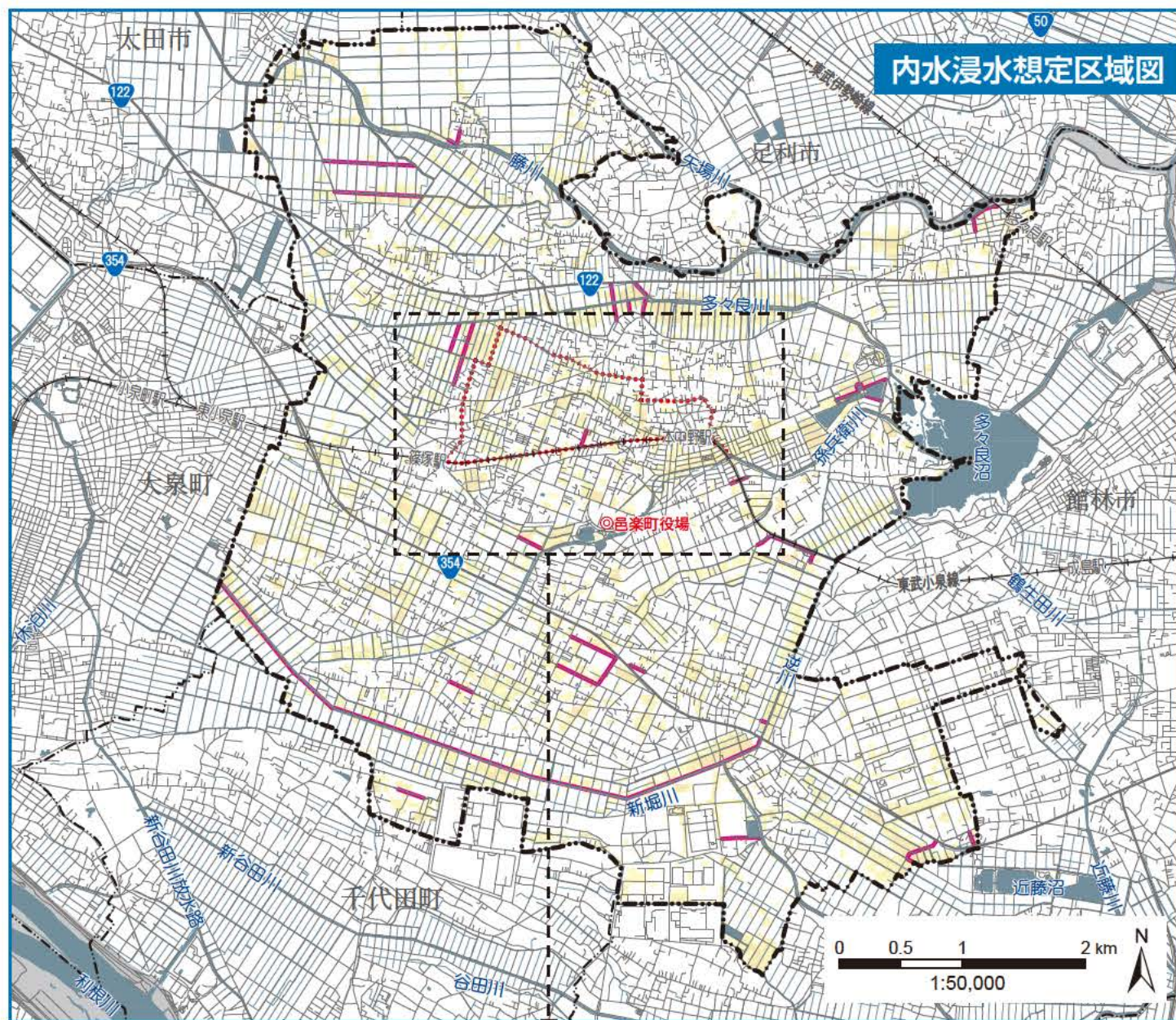
- 3m ～ 5m 未満
(2階床上～2階軒下浸水)
- 0.5m ～ 3m 未満
(1階床上～1階軒下浸水)
- 0.5m 未満
(1階床下浸水)

家屋が倒壊するおそれのある区域
(家屋倒壊等氾濫想定区域)洪水の際に地面が
削られるおそれがある
区域 (河岸侵食)新堀川
浸水が続く長さ浸水が続く長さ
(浸水継続時間)

- 1週間程度
- 3日間程度
- 1日間程度
- 12時間程度



内水氾濫が発生したら



内水浸水想定区域図 (想定最大規模)

指定の対象となる降雨

1時間雨量 153mm

指定年月日

令和7年12月1日

作成主体

邑楽町

凡例

排水区域界
(都市下水路が整備されている区域)

過去に冠水した道路

浸水の深さ(最大浸水深)

20m以上
10m～20m未満
5m～10m未満
3m～5m未満
1m～3m未満
0.5m～1m未満
0.3m～0.5m未満
0.2m～0.3m未満
0.2m未満

この図は、水防法の規定に基づく想定最大規模降雨が発生した場合に浸水が想定される範囲やその深さを表した図面です。令和6年度末時点の邑楽町内の都市下水路等の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨(1時間雨量153mm)により内水氾濫が発生した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより予測したものです。

堤防の決壊や河川からあふれた水による洪水(外水氾濫)等は考慮していません。降雨の状況により、想定される浸水と異なる場合があります。

浸水被害を軽減する方法

側溝や排水溝を清掃

雨水がスムーズに流れなくなると、雨水がたまり、浸水が発生します。普段から側溝や排水溝の掃除をして、水はけを良くしておきましょう。



保険・共済に加入

浸水被害からの生活復旧には、想像以上の費用がかかります。水害に対応した保険や共済に加入しておくことで、生活復旧への支援が受けられます。



大事なものを高いところへ

水にぬれると困るものをできる限り高いところへ上げましょう。



屋外の作業は大雨が降る前に

物干しざおや物干し台は寝かせ、植木鉢やゴミ箱などは、室内に入れておきましょう。窓や屋根の補強などは、早めに終わらせておきましょう。



エアコンの室外機や配線類から漏電の危険性があります。ブレーカーを落としておきましょう。

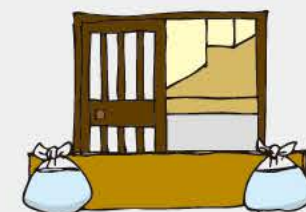


土砂や泥が入らないように、浄化槽のフタをしっかりと閉め、ブロアー(浄化槽ポンプ)の電源を切り、高い場所に移動しておきましょう。



簡易水防工法で浸水を防ぎましょう。

出入口に板などを設置し、浸水を防ぎます。



水を入れたポリタンクや土を入れたプランターをレジヤシートで巻き込み使用します。



40リットル程度の容量のゴミ袋を二重にして、中に半分程度の水を入れて閉めます。これをダンボール箱に入れ、連結して使用します。



思わぬ場所からの浸水を防ぎましょう。

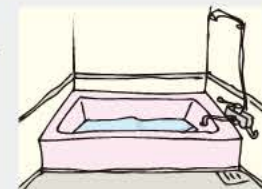
床下が浸水すると、床下収納から水が入ってきます。重しをして防ぎましょう。



下水が逆流して、トイレから水が噴き上がることがあります。ビニール袋に水を入れて、重しにしておきましょう。



風呂の浴槽の水は流さずに溜めておきましょう。下水の逆流を防ぐことができ、生活用水としても利用することができます。



洪水から命を守る

原則 早めの避難

洪水の危険性が高まる前に避難

積極的に情報を入手し、避難のきっかけをつかみましょう。



※指定緊急避難場所や指定避難所に入れる人数は限られます。まずは、親戚・知人宅への避難を考えましょう。

たとえばこんなところへ・・・

- 親戚・知人宅など、町内に限らずより安全な場所
- 洪水時に利用できる指定緊急避難場所や指定避難所

- ・洪水時利用できる指定緊急避難場所や指定避難所は、逃げどきマップで確認しましょう。
- ・町のホームページなどで開設状況を確認してから避難しましょう。

情報の入手方法は38ページで確認

もしも、逃げ遅れたら / その場そのときで命を守る対応を

避難することに危険を感じたら、命を守れる場所へ

大雨や強風、夜暗いときなどに避難することは危険を伴います。ましてや浸水の中を避難するのは大変危険です。



たとえばこんなところへ・・・

- 高く丈夫な建物や高い場所
- 自宅の高いところ
- 指定緊急避難場所・指定避難所に限らず、駆け込めるところ

自宅が命を守れる場所かは、

逃げどきマップ

19～32ページ

で確認しましょう。



渡良瀬川と利根川に挟まれた邑楽町はほとんどの地域が浸水します。

町内に限らず、親戚・知人宅などへの避難を検討しましょう。



更に深刻な状況になる地域から避難しでくる可能性があります。

低い道路は通らない

周囲より低く水の溜まりやすい道路の通行には注意しましょう。エンジンなどが停止し、車が動かなくなるおそれがあります。

過去に冠水した道路やアンダーパス

危険



浸水した道路は通らない

水が濁って、足元が見えにくくなります。もしフタが外れているとマンホールや排水溝などに転落して危険です。



逃げ遅れたら、少しでも安全な場所へ

浸水する建物でも、浸水深が3m未満であれば、自宅の2階で命を守る事もできます。同じ建物でも、上層階など浸水から安全に身を守れる場所へ避難しましょう。

浸水よりも高く



自宅にとどまる場合には準備と覚悟を

浸水しない地域にお住まいの方は、自宅にとどまることが避難となります。ただし、水道や電気、ガスなどが使えなくなるおそれがあります。自宅にとどまる場合には、飲料水や食料などの準備と、不便を強いられることへの覚悟が必要です。

最低でも3日以上
備蓄品リストは40ページで確認

洪水から命を守る情報

避難情報

町は災害の進展に合わせて避難情報を発表します。
避難情報はこの順番で発令できないこともあります。

警戒レベル
行動を促す情報
とるべき行動



邑楽町で起こり得る水害

内水氾濫

大雨が排水しきれずに街にたまる

町内や周辺にたくさんの雨が降ると...

排水能力が追いつかず、市街地に水があふれてしまうおそれがあります。

矢場川、多々良川、新堀川、その他の中小河川の氾濫



川の水が街に流れ込む

渡良瀬川や利根川の氾濫



大きな川の水まで街に流れ込む

邑楽町の周辺に多くの雨が降りつづくと...

町内や周辺に流れる中小河川が増水し、氾濫することがあります。

巨大台風の接近で多くの雨が降りつづくと...

渡良瀬川や利根川の上流に多くの雨が降り続くと、町内で雨が降っていないなくても雨水が集まり、大きな河川が氾濫することがあります。

水害の種類と情報の発表

内水氾濫や中小河川の氾濫

内水氾濫や中小河川の氾濫は、急激に事態が進展することが多く、避難情報を発令することが非常に難しい現象です。
避難情報に加え、周辺の雨にも注意する習慣をつけましょう。また、地域で情報を共有することも重要です。

39ページの気象情報も確認しておきましょう。

大河川の氾濫

大河川の氾濫は、上流での大雨や巨大台風などが原因となることが多いため、それらの予測情報をもとに避難情報を発令します。
台風情報や気象情報などに注意し、避難情報を確実に受け取れるよう、準備しておきましょう。

38ページの情報の入手方法も確認しておきましょう。

自宅がどんな河川の影響を受けやすいか、5ページのマップで確認し、45ページの記入欄に記入しておきましょう。

余裕を持って早めに避難しましょう

夜間は視界も悪く、音も聞こえづらいため、危険です。台風の接近や、大雨が降り続く予想の場合は、暗くなる前に早めに避難しましょう。



避難指示を聞いてからは原則歩いて避難

避難指示を聞いてから車で避難した場合、混雑による渋滞の発生が考えられます。車での避難を考えている方は「高齢者等避難」などのより早い段階で避難を開始してください。



避難のきっかけを逃さないよう、水位情報を確認しましょう

お住まいの近くや上流の水位観測所の水位を確認し、氾濫しそうなときは、避難情報が出ていなくても避難しましょう。

NHK データ放送 (d ボタンを押す)

国土交通省川の防災情報

URL <https://www.river.go.jp/>



観測所の位置は、39ページの地図でご確認ください。



逃げどきマップで考えよう！ 洪水からの避難対応

逃げどきマップは、どのような行動をどんなタイミングで行うべきなのかを示した地図です。国と群馬県が、およそ 1000 年に一度の確率で降る大雨による浸水を想定し、計算した浸水の深さ、家屋が倒壊するおそれのある区域、浸水が続く長さの結果に基づいて作成しています。

逃げどきマップは、以下の浸水想定区域図を基に作成しています。

国管理河川

- 利根川水系利根川洪水浸水想定区域図
- 利根川水系渡良瀬川洪水浸水想定区域図
- 利根川水系矢場川洪水浸水想定区域図
- 利根川水系多々良川洪水浸水想定区域図

県管理河川

- 利根川水系新堀川洪水浸水想定区域図
- 群馬県利根川水系洪水浸水想定区域図 邑楽・館林圏域

河川ごとの浸水の状況は、6～11 ページでご確認ください。

Q 浸水の
水深が深いと
どうなるの？

自宅の一番上の階も
浸水するかも。
どうしよう？

浸水が始まる前の
早めの避難が不可欠！

Q 浸水が
長期間続くと
どうなるの？

長期間、
電気・ガス・水道などが
使えなくなるかも。
どうしよう？

自宅にとどまることになったら
それなりの備えが必要！

逃げどきマップの見方

いつ、どこに逃げるかを自身で考えてみてください。

- 1 お住まいの地区の逃げどきマップを開く。
- 2 逃げどきマップ上で自宅の位置の色と模様を確認する。
- 3 裏表紙の裏の折込みを開き、判定フローで自宅を判定する。
- 4 判定結果をもとにあなたの避難行動を確認する。
- 5 3つの避難パターンの避難先を検討し、45 ページの家族の避難計画に記入する。

避難 パターン 1

親戚・知人宅や宿泊施設・
勤め先等へ

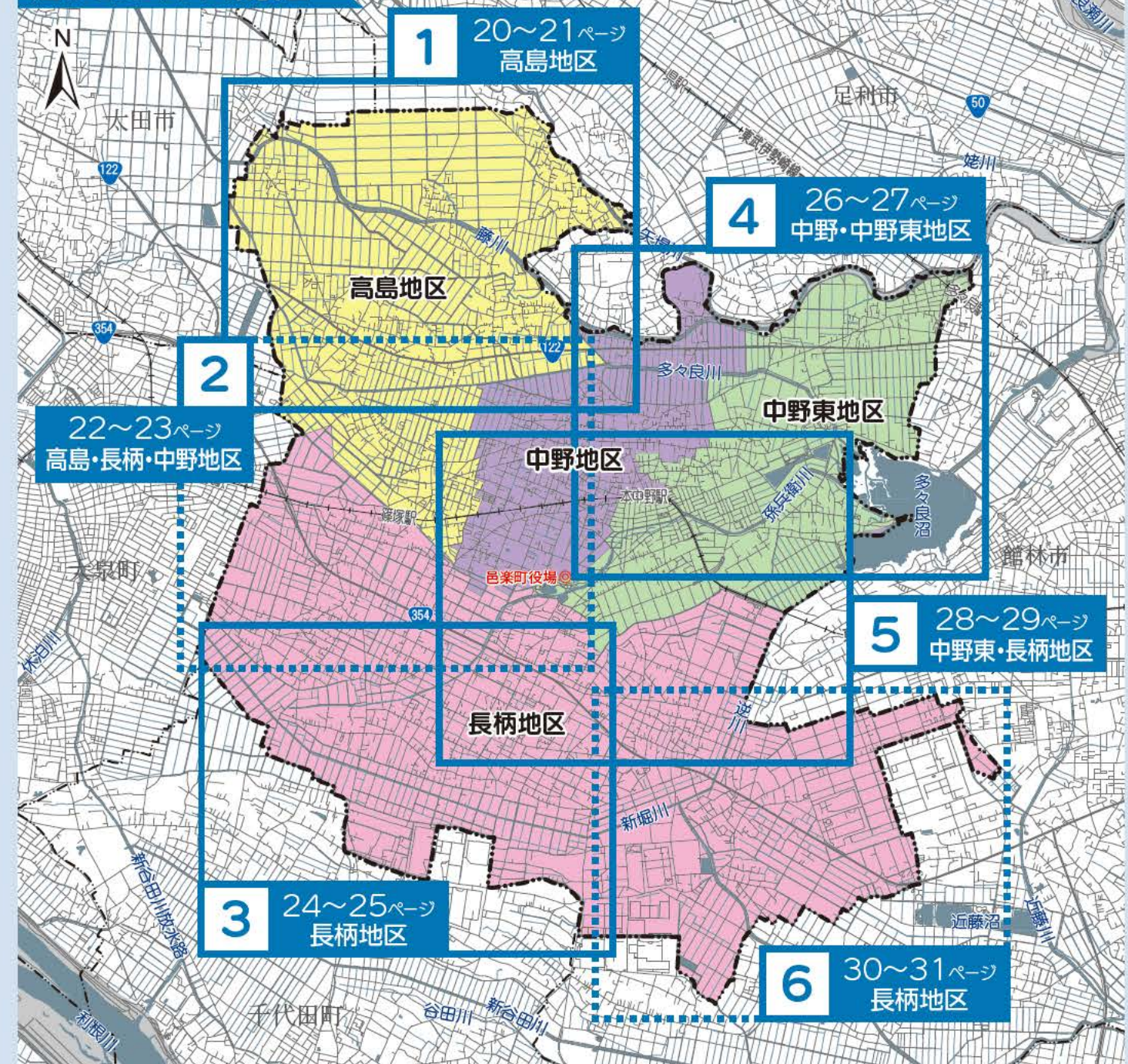
避難 パターン 2

指定緊急避難場所・指定避
難所へ

避難 パターン 3

もしも逃げ遅れてしまっ
たら、命を守る場所へ

逃げどきマップ索引図



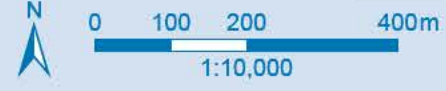
命を守ることを第一に、ご自身の判断で適切に行動してください

逃げどきマップで判定できる避難行動は、あくまで想定された計算上のひとつのシナリオをもとにしたものです。実際の洪水はそれとおりに発生するとは限りません。気象情報や水位情報、避難情報など、周辺の状況に注意をはらって、ご自身で命を守るために最善と思われる行動をとるようにしましょう。

水害 逃げどき マップ

高島地区

1 2 3 4 5 6



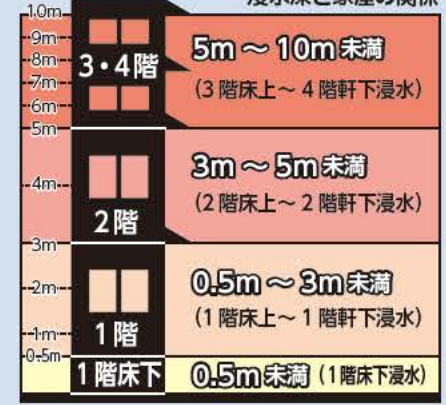
指定緊急避難場所等 凡例

- 指定緊急避難場所 緊急の一時的な避難先
- 指定避難所 自宅に戻れない方が滞在
- 一時避難所 一時的な避難先
- 避難場所 一時的な避難先
- 福祉避難所 特別な支援が必要な方向け
- マークの上にある場合は 洪水時利用不可

避難施設の種類と詳しい役割は、36～37ページでご確認ください。

浸水の深さ (最大浸水深)

浸水深と家屋の関係



早期の避難が必要な区域

- 流速が早く、木造家屋が倒壊するおそれがある区域
- 洪水の際に地面が削られるおそれがある区域
- 1週間～2週間浸水が続くおそれがある区域

避難のとき注意が必要な箇所

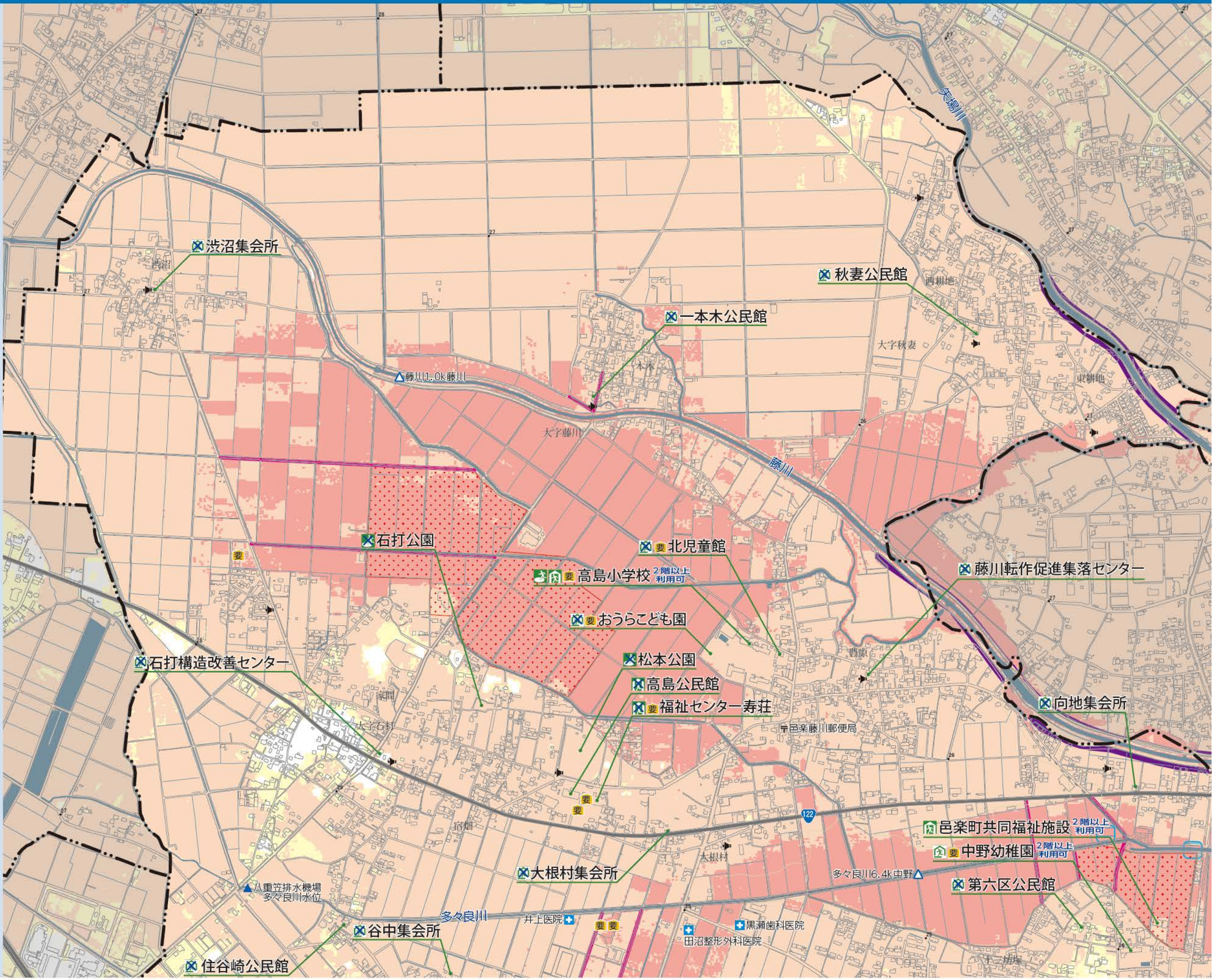
- アンダーパス
- 過去に冠水した道路

凡例

- 官公庁
- 警察
- 消防
- 医療機関
- 郵便局
- 水位観測所
- 危機管理型水位計
- 雨量観測所
- 防災行政無線
- 標高

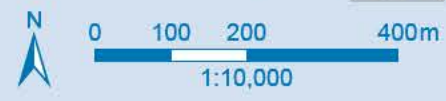
要 要配慮者利用施設

施設一覧は邑楽町ホームページでご確認ください。



水害 逃げどき 2 マップ

高島・長柄・中野地区

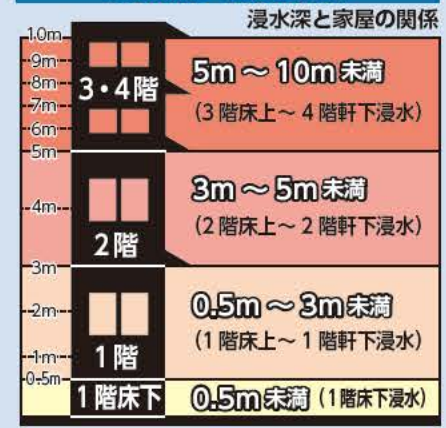


指定緊急避難場所等 凡例

- 指定緊急避難場所 緊急の一時的な避難先
- 指定避難所 自宅に戻れない方が滞在
- 一時避難所 一時的な避難先
- 避難場所 一時的な避難先
- 福祉避難所 特別な支援が必要な方向け
- マークの上にある場合は 洪水時利用不可

避難施設の種類と詳しい役割は、36～37ページでご確認ください。

浸水の深さ (最大浸水深)



早期の避難が必要な区域

- 流速が早く、木造家屋が倒壊するおそれがある区域
- 洪水の際に地面が削られるおそれがある区域
- 1週間～2週間浸水が続くおそれがある区域

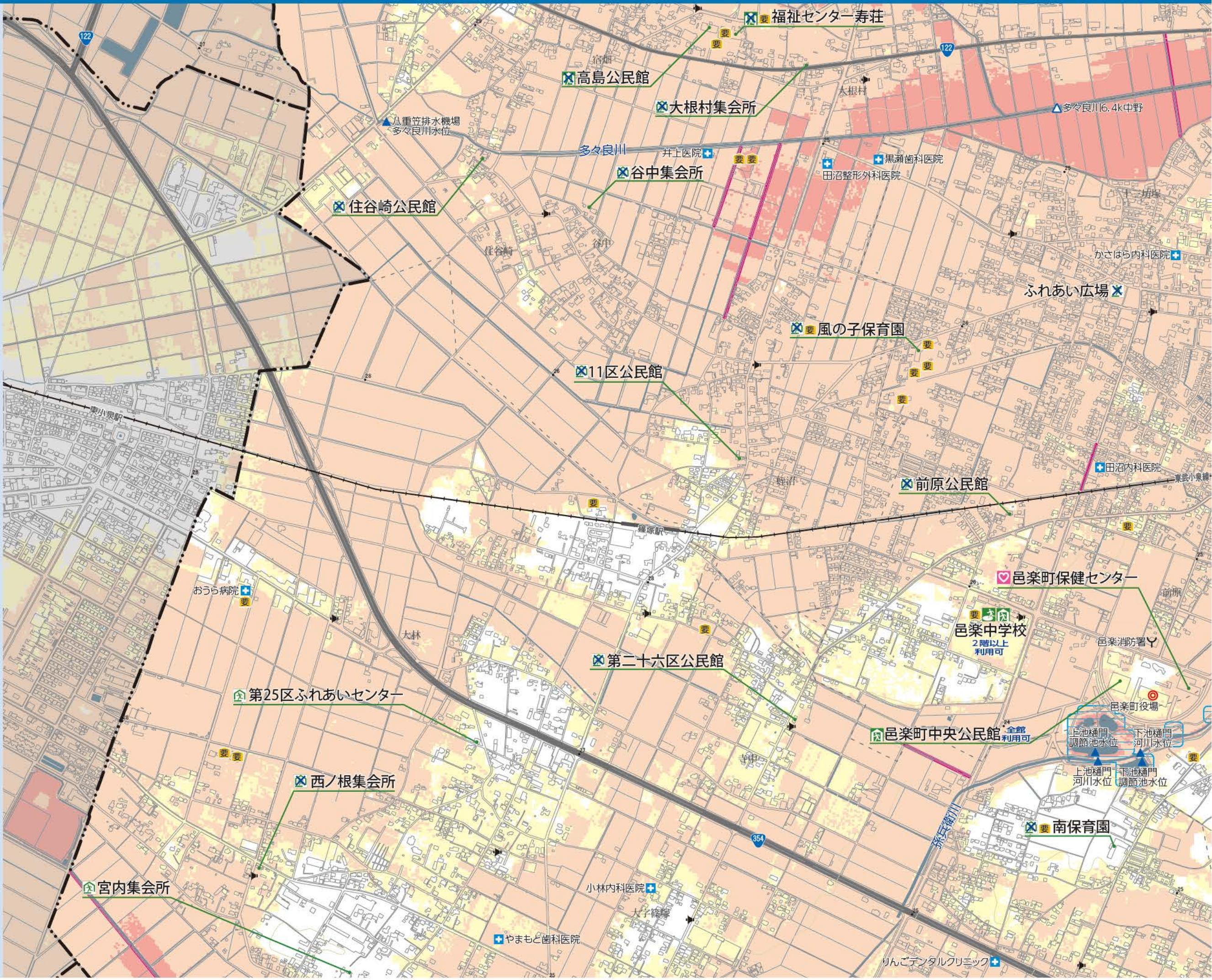
避難のとき注意が必要な箇所

- アンダーパス
- 過去に冠水した道路

凡例

- 官公庁
- 水位観測所
- 警察
- 危機管理型水位計
- 消防
- 雨量観測所
- 医療機関
- 防災行政無線
- 郵便局
- 標高

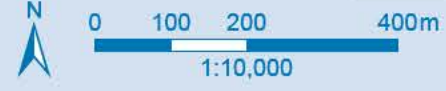
要配慮者利用施設
施設一覧は邑楽町ホームページでご確認ください。



水害 逃げどき マップ 3

長柄地区

1 2 3 4 5 6

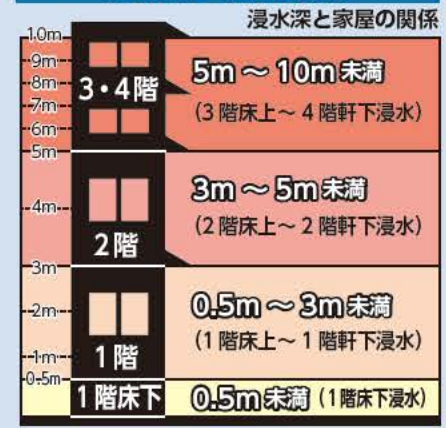


指定緊急避難場所等 凡例

- 指定緊急避難場所 緊急の一時的な避難先
- 指定避難所 自宅に戻れない方が滞在
- 一時避難所 一時的な避難先
- 避難場所 一時的な避難先
- 福祉避難所 特別な支援が必要な方向け
- マークの上にある場合は 洪水時利用不可

避難施設の種類と詳しい役割は、36～37ページでご確認ください。

浸水の深さ (最大浸水深)



早期の避難が必要な区域

- 流速が早く、木造家屋が倒壊するおそれがある区域
- 洪水の際に地面が削られるおそれがある区域
- 1週間～2週間浸水が続くおそれがある区域

避難のとき注意が必要な箇所

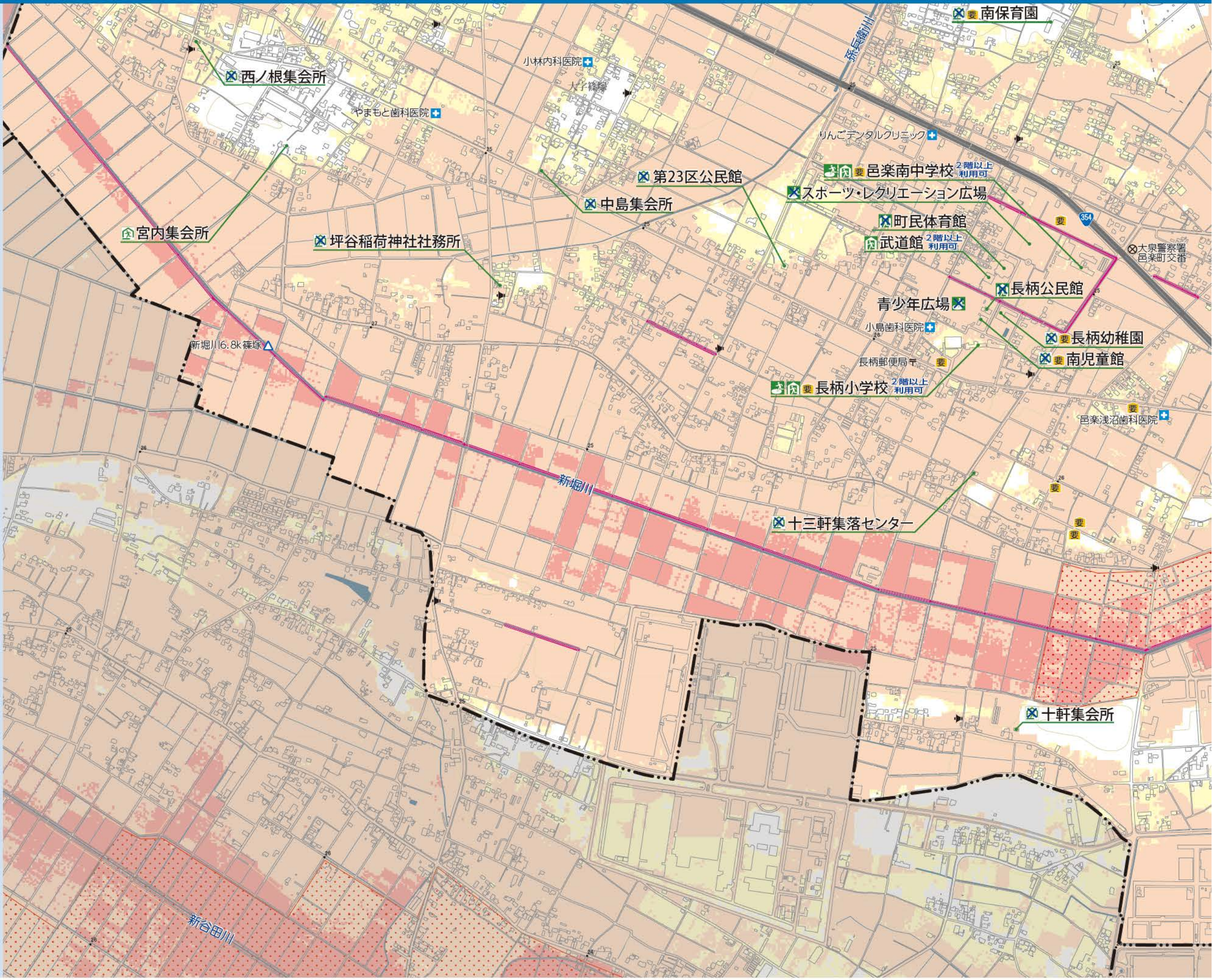
- アンダーパス
- 過去に冠水した道路

凡例

- 官公庁
- 警察
- 消防
- 医療機関
- 郵便局
- 水位観測所
- 危機管理型水位計
- 雨量観測所
- 防災行政無線
- 標高

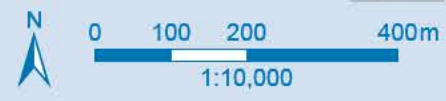
要 要配慮者利用施設

施設一覧は邑楽町ホームページでご確認ください。



水害 逃げどき 5 マップ

中野東・長柄 地区



指定緊急避難場所等 凡例

- 指定緊急避難場所 緊急の一時的な避難先
- 指定避難所 自宅に戻れない方が滞在
- 一時避難所 一時的な避難先
- 避難場所 一時的な避難先
- 福祉避難所 特別な支援が必要な方向け
- マークの上にある場合は 洪水時利用不可

避難施設の種類と詳しい役割は、36～37ページでご確認ください。

浸水の深さ (最大浸水深) 浸水深と家屋の関係

1.0m		3・4階	5m～10m未満 (3階床上～4階軒下浸水)
9m			
8m			
7m			
6m		2階	3m～5m未満 (2階床上～2階軒下浸水)
5m			
4m		1階	0.5m～3m未満 (1階床上～1階軒下浸水)
3m			
2m			
1m		1階床下	0.5m未満 (1階床下浸水)
0.5m			

早期の避難が必要な区域

- 流速が早く、木造家屋が倒壊するおそれがある区域
- 洪水の際に地面が削られるおそれがある区域
- 1週間～2週間浸水が続くおそれがある区域

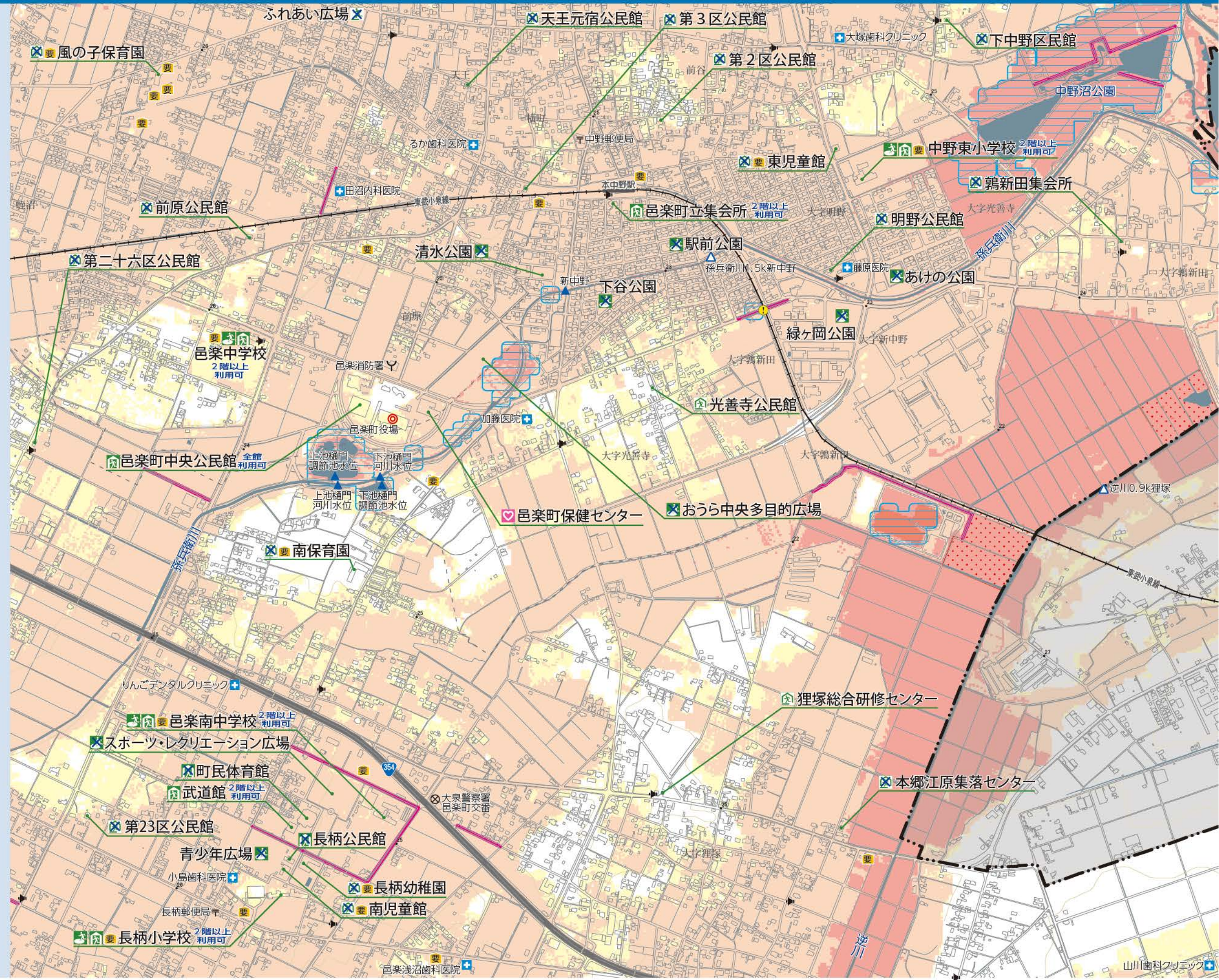
避難のとき注意が必要な箇所

- アンダーパス
- 過去に冠水した道路

凡例

- 官公庁
- 水位観測所
- 危機管理型水位計
- 警察
- 雨量観測所
- 防災行政無線
- 消防
- 医療機関
- 郵便局
- 標高

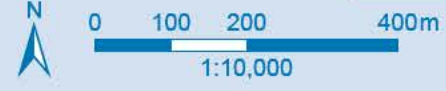
要配慮者利用施設
施設一覧は邑楽町ホームページでご確認ください。



水害 逃げどき マップ

長柄地区

1 4
2 5
3 6



指定緊急避難場所等 凡例

- 指定緊急避難場所 緊急の一時的な避難先
- 指定避難所 自宅に戻れない方が滞在
- 一時避難所 一時的な避難先
- 避難場所 一時的な避難先
- 福祉避難所 特別な支援が必要な方向け
- マークの上にある場合は 洪水時利用不可

避難施設の種類と詳しい役割は、36～37ページでご確認ください。

浸水の深さ (最大浸水深)

浸水深と家屋の関係	
1.0m 9m 8m 7m 6m 5m	3・4階 5m～10m未満 (3階床上～4階軒下浸水)
4m 3m 2m 1m 0.5m	2階 3m～5m未満 (2階床上～2階軒下浸水)
1m 0.5m	1階 0.5m～3m未満 (1階床上～1階軒下浸水)
0.5m	1階床下 0.5m未満 (1階床下浸水)

早期の避難が必要な区域

- 流速が早く、木造家屋が倒壊するおそれがある区域
- 洪水の際に地面が削られるおそれがある区域
- 1週間～2週間浸水が続くおそれがある区域

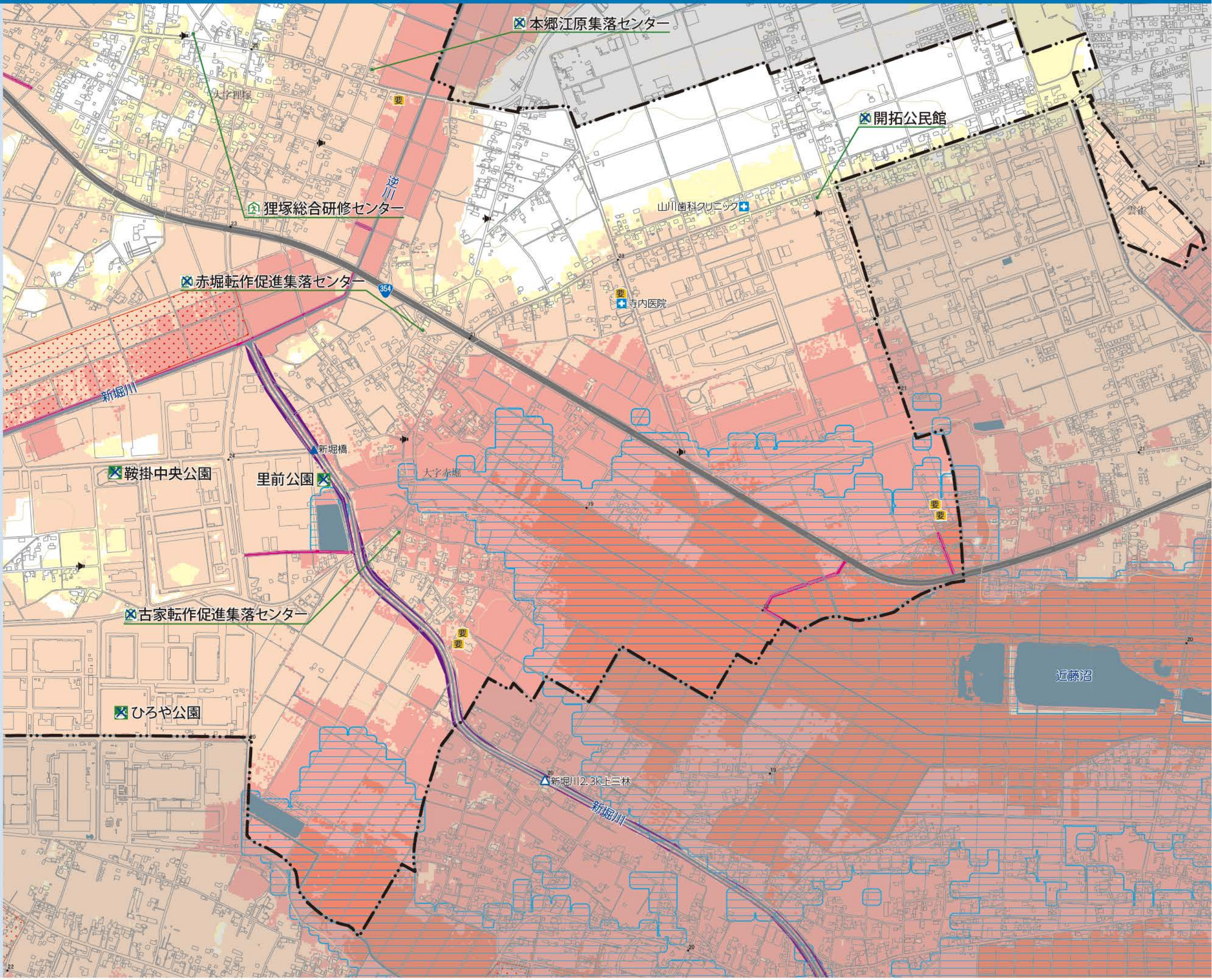
避難のとき注意が必要な箇所

- アンダーパス
- 過去に冠水した道路

凡例

- 官公庁
- 水位観測所
- 警察
- 危機管理型水位計
- 消防
- 雨量観測所
- 医療機関
- 防災行政無線
- 郵便局
- 標高

要配慮者利用施設
施設一覧は邑楽町ホームページでご確認ください。



地震の想定

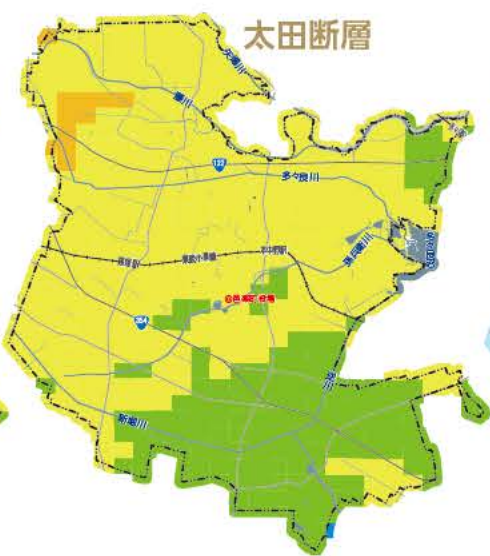
震度分布 県内の3つの活断層で地震が発生した場合



邑楽町に大きな地震が発生させるような活断層として、「関東平野北西縁断層帯主部」があります。しかし、これ以外の断層の地震でも大きく揺れることがあります。

この地図は群馬県地震被害想定調査（平成24年度）を基に作成したものです。
以下の3つの断層（帯）により被害想定を行っています。
● 関東平野北西縁断層帯主部による地震（M8.1）
● 太田断層による地震（M7.1）
● 片品川左岸断層による地震（M7.0）

震度	
震度6強	震度6弱
震度5強	震度5弱
震度4以下	



0 1 2 3 km
1:110,000

震度階級ごとの揺れによる被害

震度 7

- 耐震性の低い建物は、傾くものや倒れるものが増える。

震度 6強

- はわないと動くことができない、飛ばされることもある。
- 大きな地割れが生じたり、大規模な地滑りや山林の崩壊が発生することがある。

震度 6弱

- 立っていることが困難になる。
- 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。

震度 5強

- 物につかまらなさと歩くことが難しい。
- 固定していない家具が倒れることがある。
- 補強されていないブロック塀が崩れることがある。

震度 5弱

- 大半の人が、恐怖を覚え、ものにつかまらなさと感じる。
- 棚にある食器類や本が落ちることがある。

震度とマグニチュードの違い

震度 揺れの大きさ

マグニチュード 地震そのものの大きさ（規模）

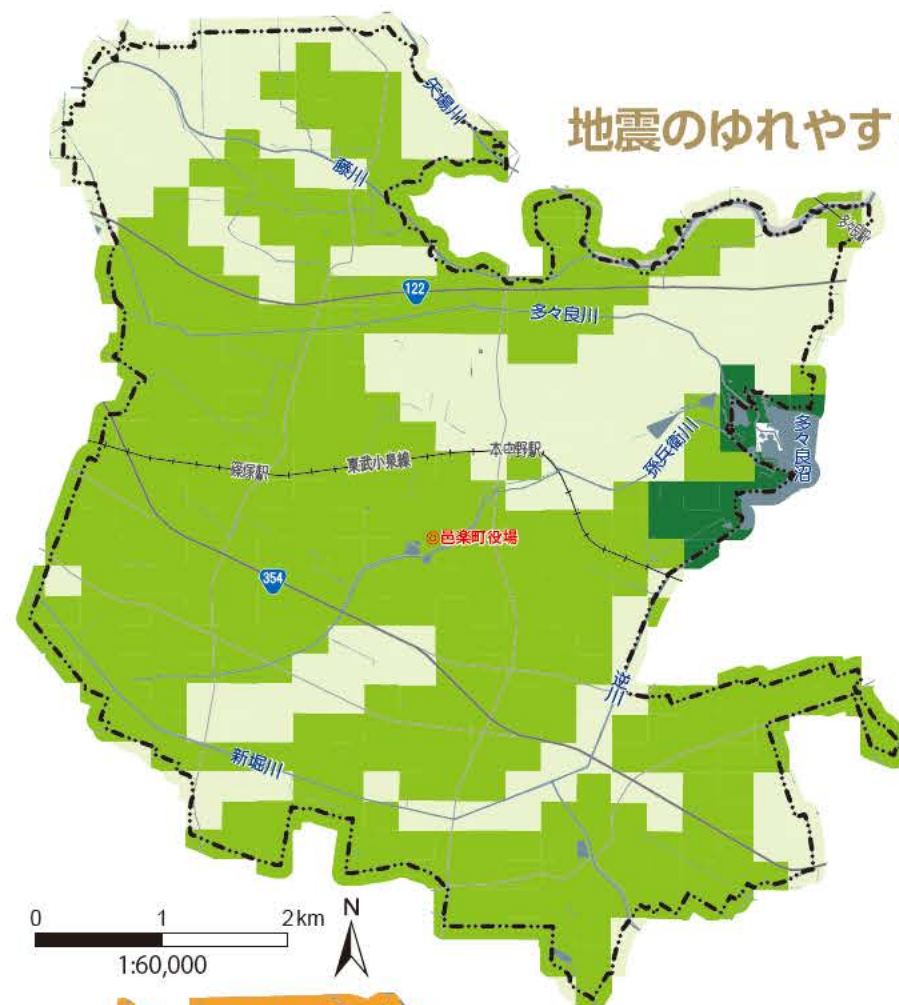


地震の波が地中を伝わり地面が揺れるため、距離が遠ければ、大きな地震でも揺れは小さくなります。

地震のゆれやすさ 町役場直下で地震が発生した場合

この地図は群馬県地震被害想定調査（平成24年度）を基に作成したものです。

ゆれやすさ	
ゆれやすい	ゆれにくい

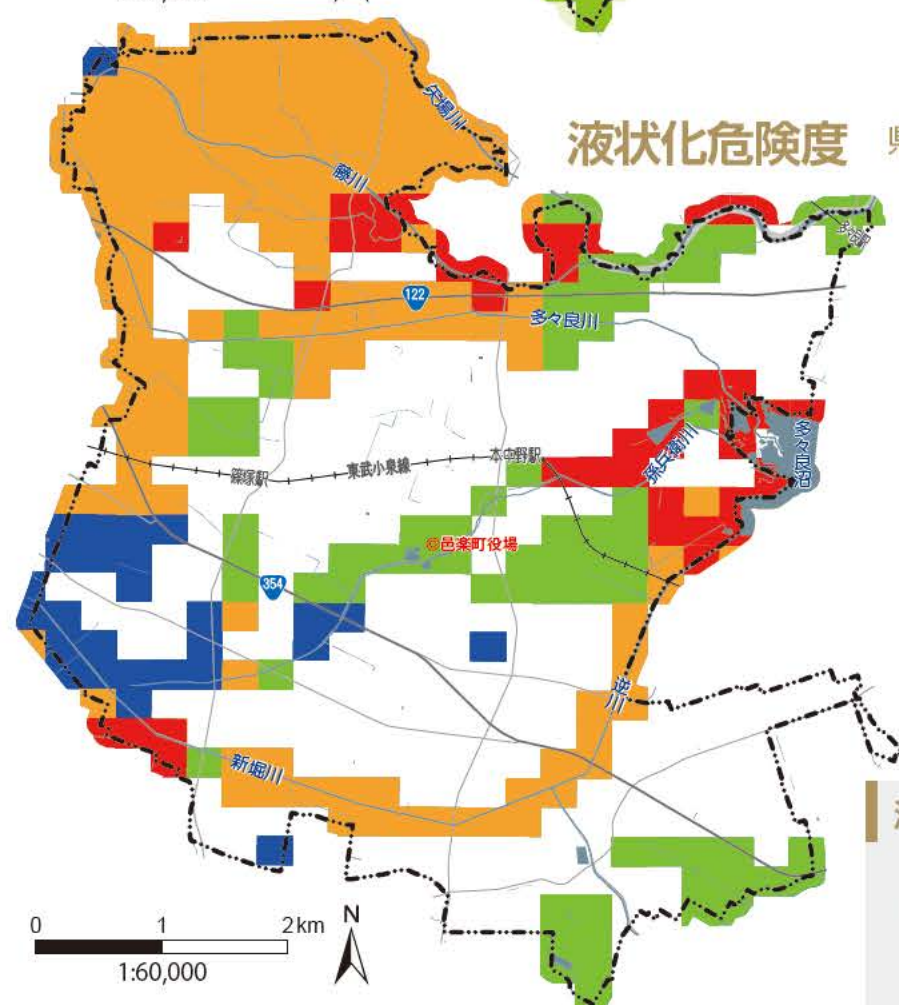


0 1 2 km
1:60,000

液状化危険度 県内の3つの活断層で地震が発生した場合

この地図は群馬県地震被害想定調査（平成24年度）を基に作成したものです。
以下の3つの断層（帯）により被害想定を行っています。
● 関東平野北西縁断層帯主部による地震（M8.1）
● 太田断層による地震（M7.1）
● 片品川左岸断層による地震（M7.0）

液状化危険度	
高い	やや高い
低い	やや低い
きわめて低い	



0 1 2 km
1:60,000

液状化するとどうなるの？

地震の振動によって地盤が液状化すると、建物などが傾く、地中のガス管や水道管が壊れる、砂まじりの水が地表に噴出するなどの被害が生じます。

地震から命を守る

建物の耐震化や家具の固定をしておきましょう

平成7年の阪神・淡路大震災では犠牲者の約8割が建物の倒壊や家具の転倒で命を落としています。地震の被害は一瞬のため、起こる前の備えが第一です。特に昭和56年5月以前に建てられた木造住宅の場合は、必要に応じて耐震補強しましょう。

揺れから身を守るための対策を確認



グラツときたら、まず身を守る

揺れを感じたら、丈夫なテーブルや机などの下に身を隠し、頭を保護するようにしましょう。屋外にいるときは、頭上からの落下物や、倒れてくる壁などに注意しましょう。

揺れから身を守る行動を確認

緊急地震速報は唯一の事前情報

緊急地震速報を見聞きしてから強い揺れが来るまでの時間はごくわずかです。この短い間に落ちてくるものや倒れてくるものを避け、あわてずに身の安全を確保しましょう。

速報が間に合わない場合もありますので、地震の揺れを感じたときは身を守る行動をとりましょう。



揺れたらすぐに身を守る行動を

緊急地震速報を見聞きしたり、地震の揺れを感じたら、すぐに身を守りましょう。

屋内にいるとき

机やテーブルの下に入るなどして頭を守り、揺れがおさまるのを待ちましょう。

- 耐震性の低い建物にいる場合は、ドアなどを開けて避難路を確保し、外に出ましょう。
- 揺れがおさまってから、落ち着いて火を消しましょう。

屋外にいるとき

建物、木、電柱から離れ、かばんなどで頭を守り、小さくなって揺れがおさまるのを待ちましょう。



自宅が危険な場合は避難しましょう

家が倒壊する危険がある場合や火が燃え広がっているときは、避難所へ避難しましょう。自宅で生活できそうなら、無理に避難所に避難する必要はありません。

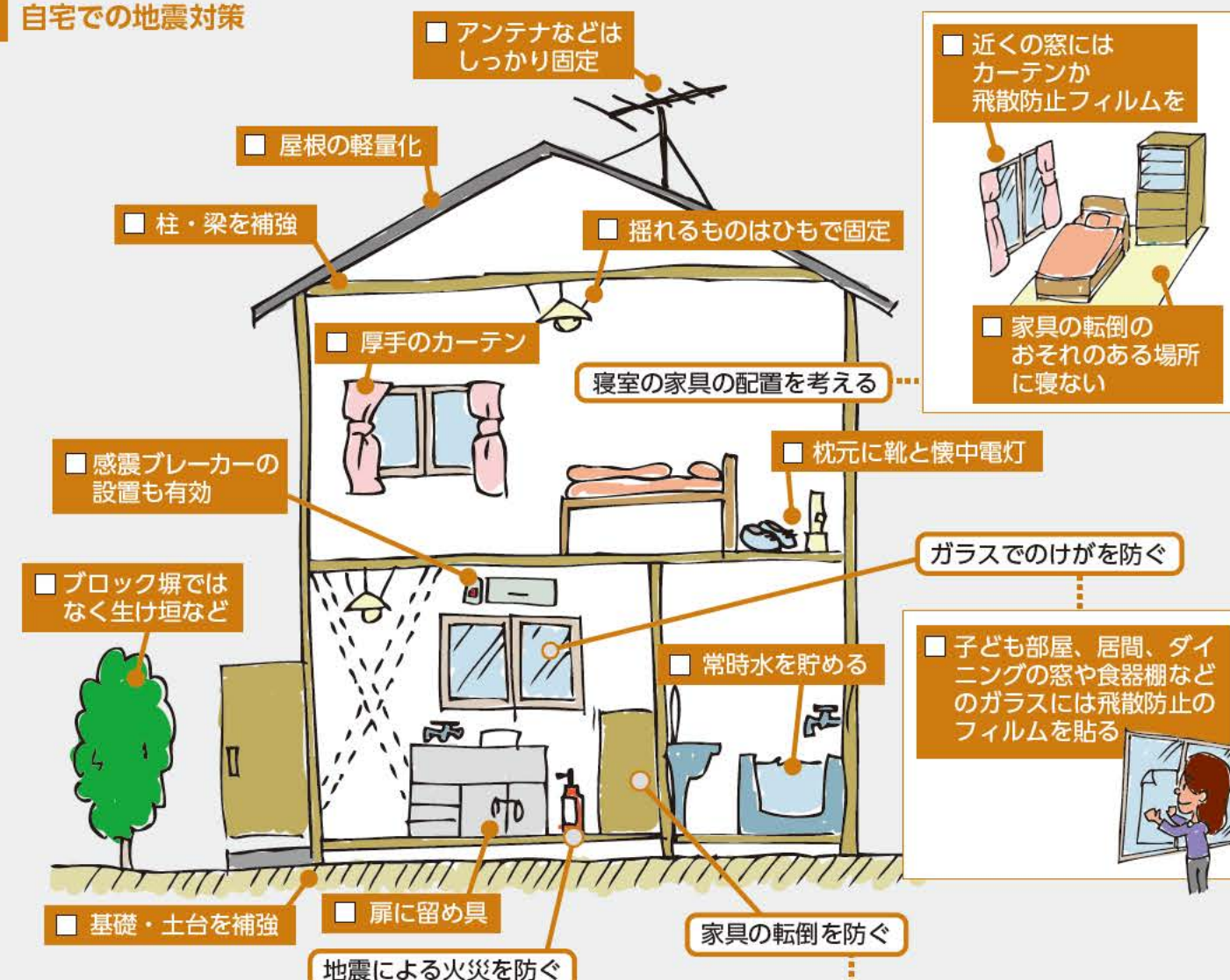
避難するときは…

火災を防ぐため、ブレーカーを落とし、ガスの元栓を閉めましょう。



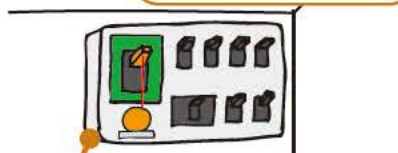
揺れから身を守るための対策をチェックしましょう

自宅での地震対策



火災対策用品を備える

住宅用火災警報器を定期的に点検・交換



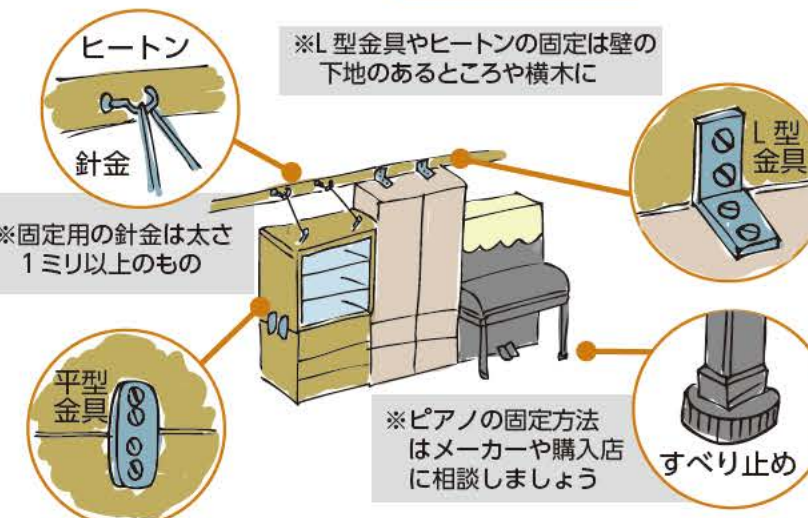
通電火災を防ぐため、地震を感知して電気をストップする感震ブレーカーを設置

※過去に地震により発生した火災の半数以上が電気によるものとなっています

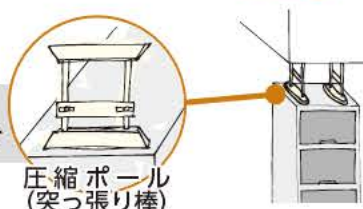


わかりやすい場所に消火器を設置

家具を固定する



※横揺れには弱いので、外れることがあります



圧縮ボール (突っ張り棒)

指定緊急避難場所等一覧

指定緊急避難場所等は、種類によって役割が異なりますので、確認しておきましょう。
指定緊急避難場所や指定避難所等に避難できる人数は限られます。まずは、親戚・知人宅など、各自で避難先を確保しましょう。

指定緊急避難場所

指定緊急避難場所とは、地震発生直後や河川氾濫の危険性がある場合などに、災害から身の安全を確保するために、緊急的・一時的に避難する場所です。災害発生時、必要に応じて町が開設します。

名称	所在地	地震時 利用可否	洪水時 利用可否	名称	所在地	地震時 利用可否	洪水時 利用可否
中野小学校	中野 3021	○	○(2階以上)	スポーツ・レクリ エーション広場	篠塚 1435-1	○	-
高島小学校	藤川 379	○	○(2階以上)	ひろや公園	赤堀 1506-1	○	-
長柄小学校	篠塚 1278	○	○(2階以上)	緑ヶ岡公園	新中野 127	○	-
中野東小学校	明野 51	○	○(2階以上)	駅前公園	新中野 87	○	-
邑楽中学校	中野 2371	○	○(2階以上)	下谷公園	新中野 61	○	-
邑楽南中学校	篠塚 1445	○	○(2階以上)	清水公園	新中野 14	○	-
農村広場	鶉 1318-1	○	-	あけの公園	明野 32-1	○	-
松本公園	石打 1140	○	-	鞍掛中央公園	赤堀 4117	○	-
石打公園	石打 1056-4	○	-	里前公園	赤堀 4123	○	-
青少年広場	篠塚 1411-2	○	-	おうら中央 多目的広場	中野 2521-1	○	-

指定避難所

指定避難所とは、地震や洪水による住居の倒壊、焼失、浸水、また、河川氾濫の危険性があるなど、自宅に戻ることができない町民等が、滞在するための施設です。災害発生時、必要に応じて町が開設します。

名称	所在地	電話番号	地震時 利用可否	洪水時 利用可否	備考
中野小学校	中野 3021	0276-88-5501	○	○(2階以上)	
高島小学校	藤川 379	0276-88-0644	○	○(2階以上)	
長柄小学校	篠塚 1278	0276-88-0649	○	○(2階以上)	
中野東小学校	明野 51	0276-89-0888	○	○(2階以上)	
邑楽中学校	中野 2371	0276-88-0150	○	○(2階以上)	
邑楽南中学校	篠塚 1445	0276-88-2120	○	○(2階以上)	
邑楽町中央公民館	中野 2569-1	0276-88-1177	○	○(全館)	物資輸送拠点
邑楽町立集会所	新中野 48-1	0276-89-1585	○	○(2階以上)	
邑楽町共同福祉施設	中野 3197	-	○	○(2階以上)	
長柄公民館	篠塚 1415-1	0276-89-0123	○	×	
高島公民館	石打 1123	0276-89-1501	○	×	
福祉センター寿荘	中野 1343-1	0276-88-6588	○	×	
町民体育館	篠塚 1423-1	0276-88-5355	○	×	
武道館	篠塚 1421-1	-	○	○(2階以上)	

一時避難所

一時避難所とは、災害発生時に指定緊急避難場所や指定避難所に行けないときなどに、命に危険が及ぶ災害から一時的に身を守るために避難する場所のことです。

※町は一時避難所に災害用の物資を備えていません。長期間避難する場合は、指定避難所に移動が必要です。

名称	所在地	電話番号 (0276)	地震時 利用可否	洪水時 利用可否	名称	所在地	地震時 利用可否	洪水時 利用可否
中野幼稚園	中野 3176	88-4808	○	○ (2階以上)	鶉区民館	鶉 251-1	○	×
長柄幼稚園	狸塚 1256	88-0049	○	×	鶉新田集会所	鶉新田 167-4	○	×
おうらこども園	藤川 451-4	70-2251	○	×	光善寺公民館	光善寺 312-1	○	○
中央保育園	中野 4398-1	88-0230	○	×	藤川転作促進集落センター	藤川 94	○	×
南保育園	篠塚 1735-1	88-1240	○	×	秋妻公民館	秋妻 527-2	○	×
風の子保育園	中野 2204-1	88-5850	○	×	一本木公民館	藤川 1118-3	○	×
中央児童館	中野 3052	88-6135	○	×	渋沼集会所	藤川 1605	○	×
北児童館	藤川 371	88-3715	○	×	石打構造改善センター	石打 1015	○	×
南児童館	篠塚 1411-8	88-2258	○	×	住谷崎公民館	石打 190-3	○	×
東児童館	中野 5073	88-1360	○	×	坪谷稲荷神社社務所	篠塚 1099-2	○	×
下中野区民館	中野 5286-5	-	○	×	第23区公民館	篠塚 1351	○	×
第2区公民館	中野 4898-1	-	○	×	西ノ根集会所	篠塚 3024-1	○	×
第3区公民館	中野 4704	-	○	×	宮内集会所	篠塚 2906-8	○	○
前原公民館	中野 2283	-	○	×	中島集会所	篠塚 2050-1	○	×
天王元宿公民館	中野 2947	-	○	×	第25区ふれあいセンター	篠塚 2781-1	○	○
第六区公民館	中野 1832-17	-	○	×	第二十六区公民館	篠塚 4255-1	○	×
第7区区民館	中野 3053-2	-	○	×	十三軒集落センター	狸塚 1020-3	○	×
第八区公民館	中野 3116-4	-	○	×	狸塚総合研修センター	狸塚 1590-1	○	○
千原田公民館	中野 3666-3	-	○	×	本郷江原集落センター	狸塚 2315	○	×
向地集会所	中野 1667	-	○	×	古家転作促進集落センター	赤堀 136-3	○	×
大根村集会所	中野 1315	-	○	×	十軒集会所	赤堀 1372-1	○	×
11区公民館	中野 580-1	-	○	×	赤堀転作促進集落センター	赤堀 510	○	×
谷中集会所	中野 56	-	○	×	開拓公民館	赤堀 3969	○	×
					明野公民館	明野 30-1	○	×

避難場所

避難場所とは、災害が発生した時に緊急に命を守るため避難し、命を守る場所です。

名称	所在地
町立多々良沼公園	鶉新田 12-1
ふれあい広場	中野 1860-1

福祉避難所

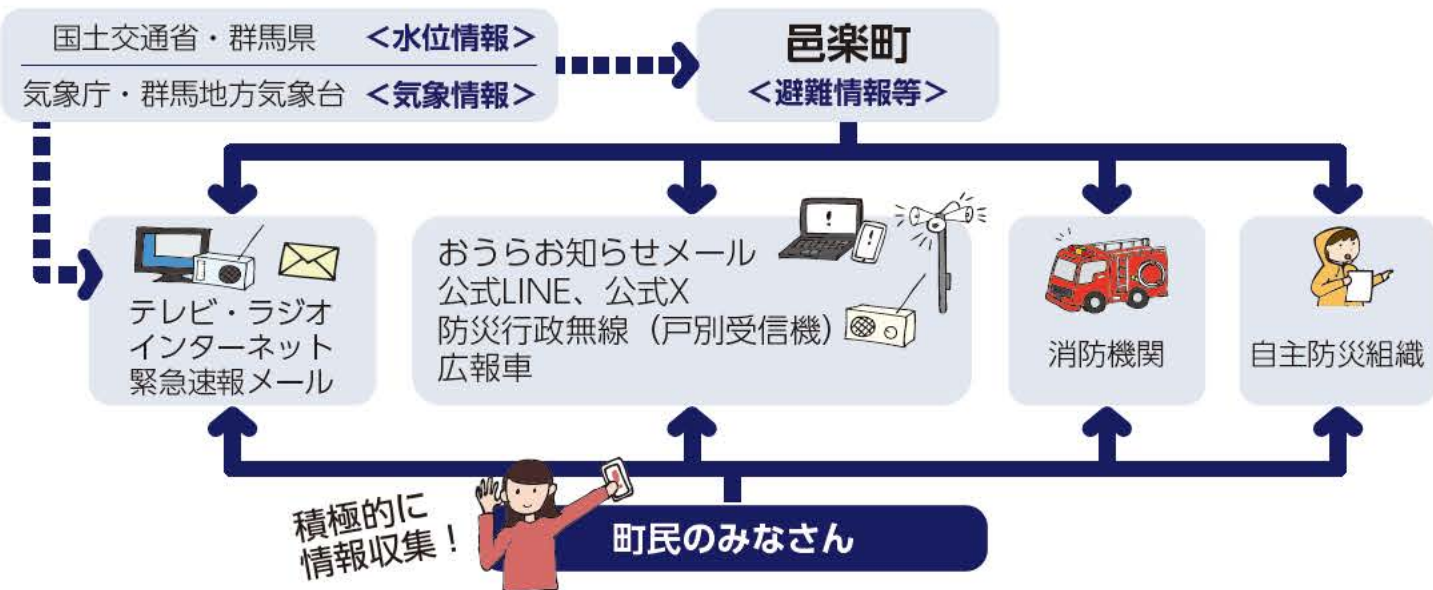
福祉避難所とは、一般の避難者との共同生活が困難な、介護を必要とする避難行動要支援者のため、バリアフリー対応で整備された避難施設です。

名称	所在地	電話番号
邑楽町保健センター	中野 2570-3	0276-88-5533

要配慮者利用施設一覧は、邑楽町ホームページでご確認ください。
邑楽町ホームページ
URL <https://www.town.ora.gunma.jp/>

情報の伝わり方

災害が発生しそうなときには、みずから情報や周りの状況に注意するよう心がけましょう。



邑楽町ホームページ

URL <https://www.town.ora.gunma.jp>

邑楽町公式 LINE

アカウント 邑楽町

LINE ID @ora_town

邑楽町公式 X

アカウント 群馬県邑楽町

ID @OraTownOfficial

おうらお知らせメール

URL <https://cc9.easypocket.jp/>

「おうらお知らせメール」は、町からの情報を電子メールでお知らせするサービスです。事前登録が必要です。

登録方法 <https://www.town.ora.gunma.jp/s007/060/140/010/oshirasemail.html>

防災行政無線（戸別受信機）

申し込み 総務課 交通防災係 ☎0276-47-5018

インターネット環境の無い一人暮らし世帯や、高齢者世帯などを対象に、防災行政無線の内容を屋内で聴くことができる戸別受信機を貸与します。

緊急速報エリアメール

「避難指示」などの災害・避難情報ははじめとする緊急度の非常に高い情報を、町内エリアに一斉配信します。設定が必要な場合もありますので、詳しくは携帯電話会社各社にお問い合わせください。

テレビ・ラジオ

NHK 総合 ch 1 NHK 第1 AM 594 kHz
群馬テレビ ch 3 エフエム群馬 FM 86.3 MHz

テレビ（データ放送）

データ放送に対応しているテレビでは、NHK 総合に合わせてdボタンを押すことで、避難情報などを確認することができます。

インターネットで調べる

国土交通省 利根川上流河川事務所
ライブカメラ画像やリアルタイム利根川情報など
URL <https://www.ktr.mlit.go.jp/tonejo/>

国土交通省 渡良瀬川河川事務所
ライブカメラ画像やリアルタイム渡良瀬川情報など
URL <https://www.ktr.mlit.go.jp/watarase/>

群馬県防災ポータルサイト
県内の注意報・警報や避難所情報など
URL <https://pref-gunma-bousai.my.salesforce-sites.com/>

気象情報

気象情報をこまめにチェックし、天気急変などの場合には速やかに安全を確保しましょう。

注意報・警報・特別警報

大雨により災害が発生するおそれがある場合、警報や注意報などの防災気象情報が発表されます。

雨が
強くなると
↓
大雨が
降り続くと
↓

注意報 大雨注意報、洪水注意報など
災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表されます。

警報 大雨警報、洪水警報など
重大な災害が起こるおそれがあるときに発表されます。

非常事態
さらに激しい大雨が続くと

特別警報 大雨特別警報など
重大な災害が起こる可能性が非常に高まっている場合に発表されます。

※警報や注意報といった「防災気象情報」の名称やレベルは、今後変更になる予定です。

台風情報

台風は暴風や大雨等をもたらします。勢力が強く、大きい台風が迫っている場合には注意が必要です。

記録的短時間大雨情報

土砂災害や河川の氾濫につながるような、短時間の猛烈な大雨が降っているとき、発表されます。

顕著な大雨に関する気象情報

大雨による災害発生危険度が急激に高まっている中で、線状の降水帯により非常に激しい雨が同じ場所で実際に降り続けているとき、発表されます。

前橋地方気象台

URL <https://www.jma-net.go.jp/maebashi/>
TEL 027-223-2280（自動応答電話）

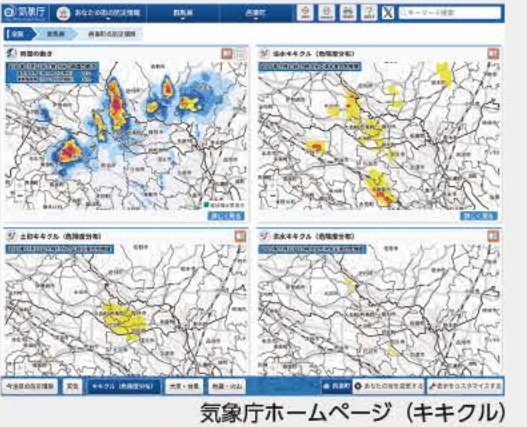
周辺の雨や危険度

気象庁ホームページのキキクルや、テレビのデータ放送で、危険度分布や雨の様子（雨雲の動き・今後の雨）などを見ることができます。

気象庁

URL <https://www.jma.go.jp/>

NHK データ放送（dボタンを押す）
気象レーダーの雨量を見ることができます。



水位情報

インターネットやテレビのデータ放送で、水位観測所の観測値などを見ることができます。お住まいの近くや上流の水位観測所の水位を確認し、氾濫しそうなときは、避難情報が出ていなくても避難しましょう。

国土交通省川の防災情報

URL <https://www.river.go.jp/>

国土交通省防災情報提供センター

URL <https://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho>



非常持ち出し品を準備しておきましょう

すぐに避難できるように最低限必要なものを非常持ち出し品として準備しておきましょう。
非常持ち出し袋には、両手の空くリュックサックが便利です。重すぎないかどうか、背負ってみましょう。



枕元に置いておきたいもの

- ☐ 運動靴・スリッパ
- ☐ 懐中電灯・ヘッドライト
- ☐ 携帯電話など
- ☐ ホイッスル（笛）
- ☐ 防寒着
- ☐ 非常持ち出し袋（リュックサックなど）

非常持ち出し袋（リュックサックなど）に入れておくもの

- ☐ 非常食
- ☐ 飲料水
- ☐ ティッシュ・ウェットティッシュ
- ☐ 着替え・タオル
- ☐ 携帯トイレ・生理用品
- ☐ 洗面用具
- ☐ 乾電池・充電器類
- ☐ 簡易食器（割り箸、紙皿）
- ☐ 口腔ケア用品（液体歯みがき など）
- ☐ めがね・コンタクトレンズ
- ☐ 携帯ラジオ
- ☐ 防寒具・雨具
- ☐ 貴重品……………財布、現金、通帳、印鑑、健康保険証、マイナンバーカード など
- ☐ 救急用品・医療品…消毒液、かぜ薬、鎮痛剤、胃腸薬、絆創膏、包帯、キズ薬 など
- ☐ 感染症対策用品……マスク、アルコール消毒液、体温計、ハンドソープ、うわばき、ビニール手袋など

あると便利なもの

- ☐ 使い捨てカイロ
- ☐ 厚手の手袋（軍手）
- ☐ ヘルメット
- ☐ 床に敷くシート
- ☐ 布粘着テープ
- ☐ 工具（のこぎり、バールなど）
- ☐ ナイフ・缶切り
- ☐ 防犯ブザー
- ☐ ビニール袋・大きめのゴミ袋

家族構成や世帯事情に応じて必要なもの

- 乳幼児|離乳食、粉ミルク、おむつ、おしりふきなど
- 疾患のある方|主治医連絡先、持病薬、お薬手帳、ストマなど
- 高齢者|入れ歯、介護食、大人用おむつなど
- ペット|リード、ケージ、排せつ用品、ペットフードなど

備蓄品を準備しておきましょう

避難所の備蓄品には限りがあります。また、災害発生から数日は、救援物資がすぐに届くかは分からないので、自分や家族の生活必需品を日頃から十分準備しておくで安心です。

- ☐ 日頃の買い置き 保存性のよい食料や水を買置きし、消費したら買い足す（ローリングストック方式）
- ☐ 3日分以上の食料 水を加えて食べられる米（アルファ化米）、缶詰、乾パン、インスタント・レトルト食品、アレルギー対応食など
- ☐ 飲料水 大人1人当たり1日3リットル
- ☐ トイレ用品 簡易トイレ、汚物保管用容器、トイレ袋、トイレトーパー
- ☐ 燃料 カセットコンロ、ガスボンベ、固形燃料
- ☐ 毛布・寝袋
- ☐ 非常用ポリタンク
- ☐ やかん・鍋
- ☐ ドライシャンプー
- ☐ 食品用ラップ
- ☐ 衣類・タオル



安否確認用の伝言サービス

災害時には電話がつながりにくくなります。利用する伝言サービスを決めておきましょう。

災害用伝言ダイヤル 171 災害時に伝言の録音や再生ができます。



災害用伝言板 災害時インターネット接続が可能な場合に利用できます。

Web 171 (NTT)		ソフトバンク / Y!mobile	
URL https://www.web171.jp		URL http://dengon.softbank.ne.jp	
NTT docomo		au (KDDI)	
URL http://dengon.docomo.ne.jp		URL http://dengon.ezweb.ne.jp	

※災害用伝言板は、大きな災害が発生したときに提供が開始されます。サービスの詳細については、NTT 及び携帯電話会社各社の説明を参照してください

体験利用が可能な日 | 毎月1日と15日(0:00～24:00)、1月1日(0:00)～3日(24:00) 防災とボランティア週間 1月15日(9:00)～21日(17:00) 防災週間 8月30日(9:00)～9月5日(17:00)

災害時の連絡・問い合わせ先

消防
(火事・救急・救助) **119**

警察
(事件・緊急) **110**

行政機関

名称	所在地	電話
邑楽町役場	中野 2570-1	0276-88-5511
館林地区消防組合消防本部	館林市赤生田町 4050-1	0276-72-8360
館林地区消防組合 邑楽消防署	中野 2647-1	0276-88-5551
大泉警察署	大泉町朝日 2-27-1	0276-62-0110
大泉警察署 邑楽町交番	篠塚 1451-1	0276-88-0543
群馬県館林土木事務所	館林市栄町 23-1	0276-72-4355
群馬県東部県民局 館林行政県税事務所	館林市仲町 11-10	0276-72-4415
国土交通省関東地方整備局利根川上流河川事務所	埼玉県久喜市栗橋北 2-19-1	0480-52-3952
国土交通省関東地方整備局渡良瀬川河川事務所	栃木県足利市田中町 661-3	0284-73-5551

ライフラインに関すること

名称	所在地	URL	電話
群馬東部水道企業団館林支所	館林市広内町 3-10	https://www.gtsk.or.jp/	0276-80-3201
東京電力パワーグリッド	—	https://teideninfo.tepco.co.jp/	0120-995-007
NTT 東日本群馬支店	—	https://www.ntt-east.co.jp/gunma/	故障受付：113

交通情報

名称	URL	電話
日本道路交通情報センター（道路交通情報）	https://www.jartic.or.jp/	050-3369-6666 携帯短縮ダイヤル：#8011

国民保護とは

国民保護とは、外国からの武力攻撃やテロなどから国民の生命、身体及び財産を守るべく、万が一そうした事態が発生した場合に、国、県、市、関係機関などが密接に連携して、住民の避難や救援、被害を最小化するために実施する措置をいい、国全体として万全の態勢を整備しようとするものです。

武力攻撃やテロなどが迫ったり、発生したときに発表される情報

警報

テレビ・ラジオなどの放送や、おうらお知らせメールなどを通してみなさんに注意を呼びかけます。



避難の指示

どのようなことがどこで発生した、あるいは発生するおそれがあるのか、住民のみなさんにどのような行動をとってほしいのか、といった内容を、国が全国民に発令・通知します。

国から避難が必要な地域に邑楽町が指定された場合、避難の指示を住民のみなさんに伝達します。そのような場合は、指示に従って適切な避難をしてください。

Jアラート

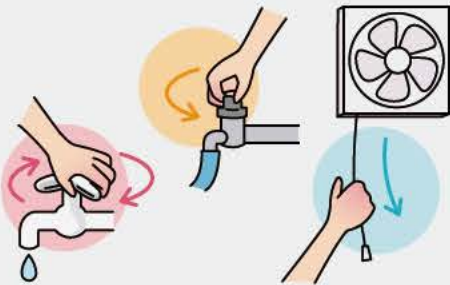
日本に影響がありうる弾道ミサイルが発射されたり、武力攻撃災害等が発生した場合は、Jアラートによってみなさんに緊急情報が発表されます。

屋内・屋外など、自分がそのときいる場所に応じた行動をとりましょう。

警報が発令されたら

屋内にいる場合

- ドアや窓を全部閉めましょう。
- ガス、水道、換気扇を止めましょう。
- ドア、壁、窓ガラスから離れて座りましょう。



屋外にいる場合

- 近隣の堅ろうな建物や地下街など屋内に避難しましょう。
- 自家用車などを運転しているかたは、できる限り道路外の場所に車両を止めてください。やむを得ず道路に置いて避難するときは、道路の左側端に沿って、キーを付けたまま駐車するなど緊急通行車両の通行の妨げにならないようにしましょう。



落ち着いて情報収集

- 警報をはじめ、テレビやラジオなどを通じて伝えられる各種情報に耳を傾け、情報収集に努めましょう。



みんなで決めて、みんなで避難

避難を呼びかける情報があったとしても、個人では避難をためらってしまいがちです。地域で逃げる仕組みを考えておくことで、避難の決断がしやすくなります。



みんなで手を取り合い助け合うことが大切です

隣近所の人や地域の人と、声をかけあえる関係づくりのためにも行政区の活動に積極的に参加しましょう。



来訪者

ケガをしている人

目や耳が不自由な人

身体が不自由な人

高齢者

災害時、あなたの助けを必要としている人がいます

危険に気付いていない人

病を患っている人

外国人

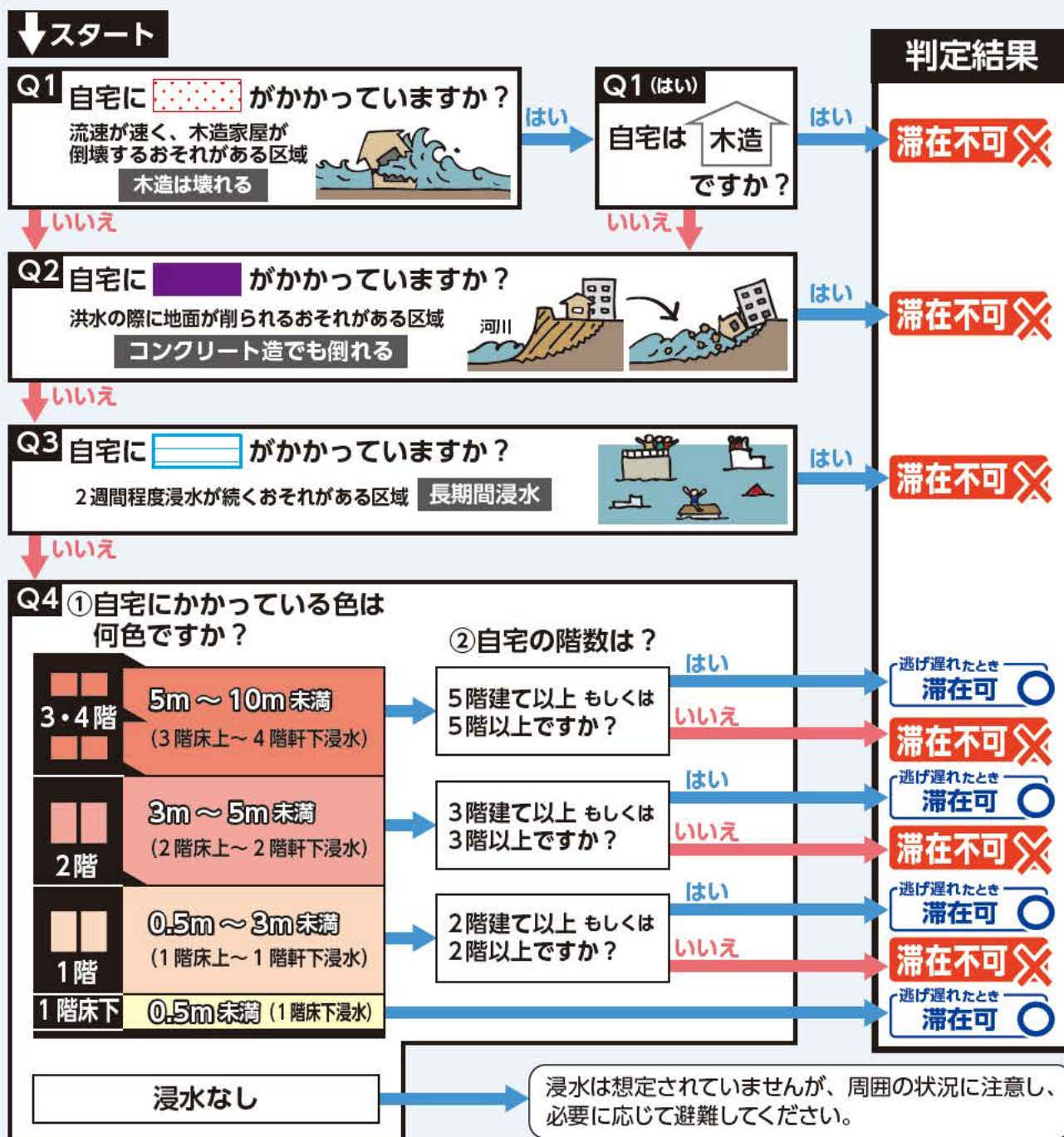
妊婦

子ども

逃げどき マップ 判定フロー

① 逃げどきマップで自宅を探して色や模様を確認しましょう。

② スタートから矢印に沿って質問に答えましょう。



家族の避難計画

Kazoku no Hinankeikaku

あなたや家族の避難計画を考えて、記入しておきましょう。

Kazoku no Hinankeikaku

水害

step 1

氾濫したら自宅に影響がある河川を記入しましょう。

5ページの気づきマップで、浸水域に自宅が含まれる河川を確認しましょう。



Kazoku no Hinankeikaku

水害

step 2

洪水で自宅がどうなるかを記入しましょう。

逃げどきマップの判定結果をチェックし、避難行動を確認しましょう。

あなたの判定結果は？



逃げ遅れたとき
滞滞在可 ○

自宅での避難（在宅避難・垂直避難）が可能です。

あなたの避難行動は？

まずは避難を検討しましょう
自宅にとどまる場合には十分な備えを！
避難に危険を感じたら無理に自宅外に避難しない



滞滞在不可 ❌

浸水後に自宅にとどまることはできません。
避難先を考えておきましょう。

命を守るために
必ず早めの自宅外への避難
が必要です

※ 洪水ハザードマップで示される浸水状況は1つの想定にすぎません。判定結果が“滞滞在可”であっても、万が一に備えて避難先を考えておきましょう！

Kazoku no Hinankeikaku

水害

step 3

洪水時の避難先を記入しましょう。

いくつかの避難のパターンを考えておきましょう。

避難1
パターン

浸水のおそれが低い地域の
親戚・知人宅や宿泊施設・勤め先等
へ避難（分散避難）

分散避難先

避難先は各自で確保

避難2
パターン

学校や公共施設など、
指定緊急避難場所・指定避難所へ避難

各自で必需品を持参
指定緊急避難場所・指定避難所

※ 避難所には多くの方、様々な方が避難し、
混雑が予想されます。まずは各自で避難先
を確保しましょう。

避難3
パターン

もしも逃げ遅れてしまったら、命を守る場所へ

自宅にとどまる
(在宅避難)

水・食料等を備蓄

在宅避難の可否 可能 ・ 不可能

近くの高くて丈夫な
建物に逃げ込む
近くの高くて丈夫な建物

各自で必需品を持参

※ 居住階まで浸水が達する場合や、早期の
避難が必要な区域に含まれる場合には、
自宅にとどまることができません。

気象・避難情報

<今後気象状況悪化のおそれ>

警戒レベル 1
早期注意情報
(警報級の可能性)

とるべき行動
災害への心構えを
高める

<気象状況悪化>

警戒レベル 2
大雨注意報
洪水注意報

とるべき行動
自らの避難行動
を確認

<災害のおそれあり>

警戒レベル 3
高齢者等避難

とるべき行動
高齢者等は避難

<災害のおそれ高い>

警戒レベル 4
避難指示

とるべき行動
全員避難

<災害発生又は切迫>

警戒レベル 5
緊急安全確保

避難の準備をチェック

いつでも避難できるよう準備する

- ☒ 防災情報の収集をはじめる
 - ☐ テレビ
 - ☐ 邑楽町ホームページ
 - ☐ 防災行政無線(戸別受信機)
 - ☐ おうらお知らせメール
 - ☐ 邑楽町公式 LINE

- ☒ 避難場所、避難経路を再確認

- ☒ 家族の予定を確認

- ☒ 家の周辺を片付け

- ☒ 避難しやすい服装の準備

- ☒ 非常持出袋の再確認

- ☒ 携帯電話の充電

- ☒ モバイルバッテリーの確認

- ☐

- ☐

いよいよ避難…その前に

- ☒ 避難所の開設状況を確認

- ☒ 火の元、戸締りの確認

- ☒ 避難先を家族に連絡

雨が強くなる前、暗くなる前
に早めに避難

- ☒ 非常持出袋を持って避難

- ☐

- ☐

この段階では車で避難しない

- ☒ 非常持出袋を持って避難

- ☐

避難のタイミングをチェック

あなたや家族の避難開始のタイミング

- ☐ 危険な場所にいる
避難に時間がかかる方

高齢者、障害者やその支援者、
妊婦や乳幼児など

警戒レベル 3 高齢者等避難
危険な場所から高齢者等
は避難開始

で避難開始

- ☐ 危険な場所にいる
全員

避難に時間がかかる方以外

警戒レベル 4 避難指示
危険な場所から全員避難

で避難開始

☒ 高齢者、障害者やその支援者、
妊婦や乳幼児など、
**避難に時間がかかる方
は安全なところへ
避難を開始する。**



☒ 危険な場所にいる
全員が安全なところ
へ避難を開始する。



警戒レベル 4 までに 危険な場所から全員避難完了!

命の危険 直ちに安全確保

その場その時の状況で最も安全と思われる場所で身を守りましょう。



※警報や注意報といった「防災気象情報」の
名称やレベルは、今後変更になる予定です。

※災害状況の進展により、必ずしもこの順番で情報が出るとは限りません。
状況に応じた柔軟な対応が重要です。

地震時の避難先を記入しましょう。

自宅が危険な時の避難先

地震の揺れや火災で自宅が危険なときの
避難先を記入しておきましょう。